

西東京市市政モニター 平成 30 年度第 1 回調査結果

●テーマ

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について【スポーツ振興課】

●調査目的

2020 年に開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会は、競技スポーツはもちろん、障害者スポーツについても大きな関心が高まることが予想され、本市におけるスポーツ推進を行う上で、大きな原動力になることが期待されている。

東京 2020 大会を契機として、多くの市民がスポーツに親しみ、「健康」応援都市としてさらに魅力あるまちとなるよう、必要な取組について調査する。

●実施期間：平成 30 年 7 月 5 日(木)～7 月 19 日(木)

●登録者数：100 人

●回答者数：91 人(回答率 91%)

※割合の表示については、設問に応じて分母が異なること(回答者数又は全回答数)や、少数点

以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります。

※自由記述や「その他」の回答については、一部表現を修正・抜粋しています。

平成 30 年 11 月



西東京市 企画部秘書広報課

目 次

平成 30 年度西東京市市政モニター登録者属性	1
-------------------------	---

【東京 2020 大会全般について 問 1～問 8】

問 1 東京 2020 オリンピックに関心がありますか	2
問 2 関心があるのはどのようなことですか	3
問 3 東京 2020 オリンピックをどのように観戦したいですか	4
問 4 東京 2020 パラリンピックに関心がありますか	5
問 5 関心があるのはどのようなことですか	6
問 6 東京 2020 パラリンピックをどのように観戦したいですか	7
問 7 西東京市にゆかりのある選手の中にも東京 2020 大会への出場が期待されている方がいます。パブリックビューイングが行われた場合、どのようなイベントだと参加したいと思いますか	8
問 8 西東京市にゆかりのある選手の中にも東京 2020 大会への出場が期待されている方がいます。観戦以外でどのように応援したいですか	9

【東京 2020 大会を契機とした市民の行動の変化について 問 9～問 10】

問 9 東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、あなた自身はやってみたいことは何ですか	10
問 10 問 9 の回答について、そのために必要な情報や学びたいスキルはありますか	12

【市からの情報発信の手法について 問 11～問 12】

問 11 2018 年 2 月に開催された平昌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の情報を得た媒体は何でしたか	13
問 12 東京 2020 大会の開催に向け、今後、西東京市独自の情報発信についてどのように思われますか	14

【オランダ連携事業について 問 13～問 21 】

- 問 13 オランダ連携プロジェクトが行われていることを知っていますか・・・・・・・・・・15
- 問 14 実際に参加したことはありますか・・・・・・・・・・16
- 問 15 障害者スポーツを知っていますか・・・・・・・・・・17
- 問 16 障害者スポーツに対するイメージを教えてください・・・・・・・・・・18
- 問 17 障害のある方と一緒にスポーツをしたことがありますか・・・・・・・・・・21
- 問 18 障害のある方と一緒にスポーツをすることに「壁」のようなものを感じますか・・22
- 問 19 「ソーシャル・インクルージョン（共生社会）」を知っていますか・・・・・・・・・・23
- 問 20 スポーツを通してコミュニケーションを図るためには何が必要だと
思いますか・・・・・・・・・・24
- 問 21 西東京市において、どのようにすれば障害者と健常者が共にいきいきとした
日常生活を送る社会が実現できると思いますか・・・・・・・・・・26

【レガシーについて 問 22～問 23 】

- 問 22 西東京市が取り組むべき重要な課題は何だと思えますか・・・・・・・・・・30
- 問 23 東京 2020 大会を通して、西東京市にどのような効果もたらされることを
期待しますか・・・・・・・・・・32

【市民の運動習慣について 問 24～問 29 】

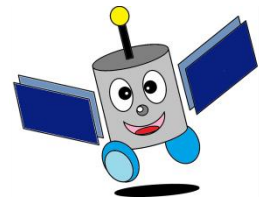
- 問 24 運動やスポーツは、生活の中でどんな効果を生み出すと思えますか・・・・・・・・・・34
- 問 25 市内でスポーツをさらに振興させるために、西東京市に今後どのようなことに
力を入れてもらいたいと思えますか・・・・・・・・・・35
- 問 26 スポーツが市民に親しまれていくためには、市民に対してどのような働きかけが
効果的と考えますか・・・・・・・・・・37
- 問 27 この 1 年間に行った運動やスポーツがあれば、全てお選びください。・・・・・・・・40
- 問 28 運動やスポーツを行う頻度は、どのくらいですか・・・・・・・・・・43
- 問 29 この 1 年間で、スポーツをするために利用した西東京市内の施設を全てお選び
ください・・・・・・・・・・44

【インバウンドについて 問 30～問 32 】

- 問 30 東京 2020 大会の開催に向け、西東京市内への外国人来訪者増加に向けた取組について、どのように考えますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
- 問 31 今後、外国人も含め市外からの来訪者を増やし、市内経済等を活性化させる取組について、どのように感じますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 問 32 今後、市内における外国人旅行者等の来訪者が増え、交流が進んだ場合、まちがどのようなようになっていくと思いますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

【自由記述 問 33 】

- 問 33 東京 2020 大会の開催に向けて、自由なご意見をお聞かせください・・・・・・・・・・ 50



<平成30年度第1回調査 回答者の属性>

全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	割合
		46	45	91	
年代	18～29歳	6	8	14	14.0
	30～39歳	10	10	20	20.0
	40～49歳	10	9	19	19.0
	50～59歳	10	9	19	19.0
	60歳～	10	9	19	19.0
地域	北東部	11	11	22	22.0
	中部	10	12	22	22.0
	西部	11	10	21	21.0
	南部	10	9	19	19.0
	市外	4	3	7	7.0

- ・北東部…ひばりが丘北・北町・栄町・下保谷・東町・中町・富士町
- ・中部…北原町・泉町・住吉町・田無町・保谷町
- ・西部…緑町・谷戸町・ひばりが丘・西原町・芝久保町
- ・南部…南町・向台町・新町・柳沢・東伏見

<市政モニター登録者の属性>

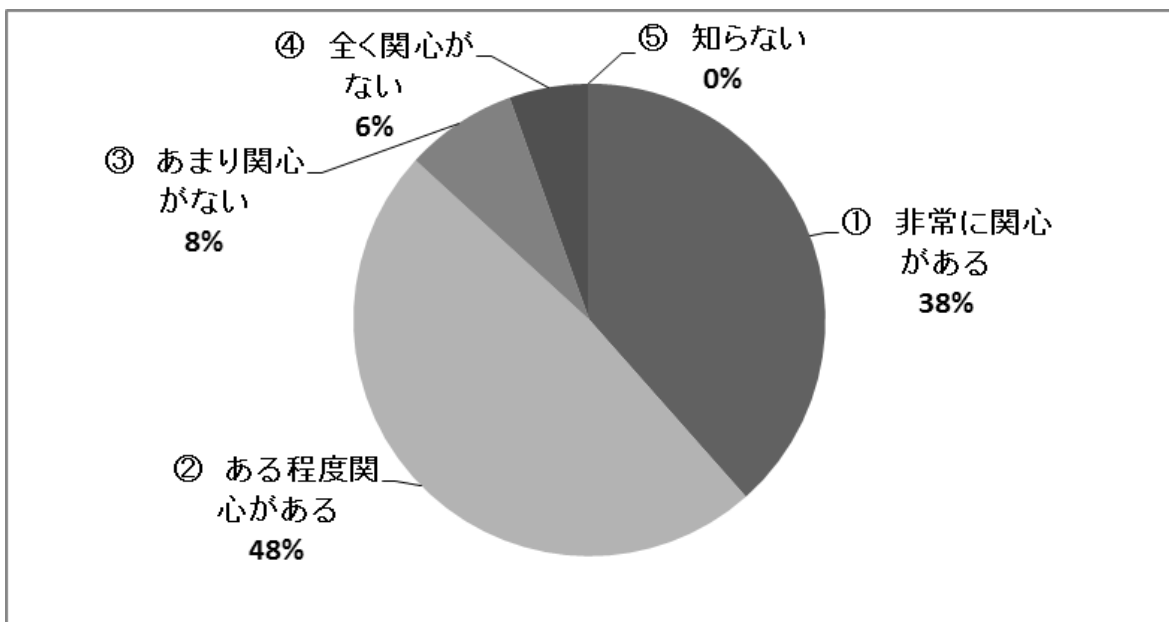
全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	割合
		50	50	100	
年代	18～29歳	8	12	20	20.0
	30～39歳	10	10	20	20.0
	40～49歳	10	10	20	20.0
	50～59歳	11	9	20	20.0
	60歳～	11	9	20	20.0
地域	北東部	11	12	23	23.0
	中部	11	12	23	23.0
	西部	12	11	23	23.0
	南部	12	10	22	22.0
	市外	4	5	9	9.0

※年代は登録時の情報を反映しています。

問1 東京 2020 オリンピックに関心がありますか。【一つだけお選びください】

全回答数（件）91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 非常に関心がある	35	38.5	2
② ある程度関心がある	44	48.4	1
③ あまり関心がない	7	7.7	3
④ 全く関心がない	5	5.5	4
⑤ 知らない	0	0.0	5



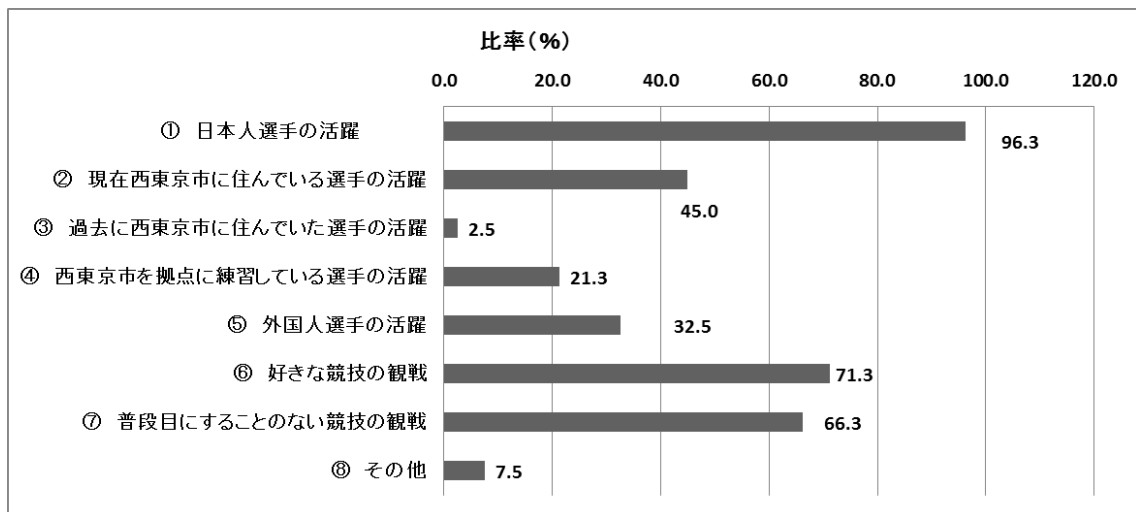
「②ある程度関心がある 44 件 (48.4%)」と回答した人が最も多く、「①非常に関心がある 35 件 (38.5%)」と回答した人を含めると関心があると回答した人は、全体の 8 割以上を占めた。

問2 問1で「①非常に関心がある・②ある程度関心がある」と答えた方に伺います。関心があるのはどのようなことですか。【上位4つをお選びください。】

全回答数（件）274

回答者数（人）80

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 日本人選手の活躍	77	96.3	1
② 現在西東京市に住んでいる選手の活躍	36	45.0	4
③ 過去に西東京市に住んでいた選手の活躍	2	2.5	8
④ 西東京市を拠点に練習している選手の活躍	17	21.3	6
⑤ 外国人選手の活躍	26	32.5	5
⑥ 好きな競技の観戦	57	71.3	2
⑦ 普段目にする事のない競技の観戦	53	66.3	3
⑧ その他	6	7.5	7



【⑧その他の意見】

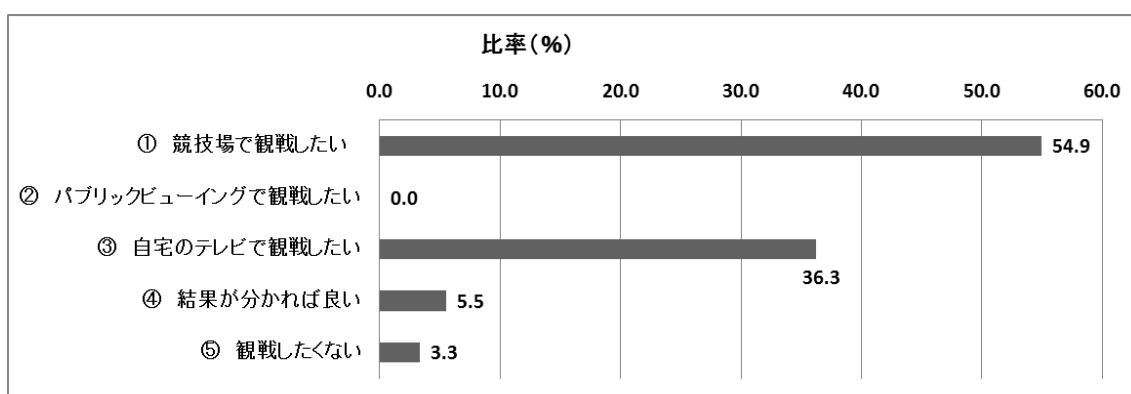
- ・開会式、閉会式（3件）
- ・オリンピックに関わるボランティア活動
- ・最先端の技術での日本文化の見せ方
- ・オリンピックを通じた日本のプレゼンス向上

「①日本人選手の活躍 77 件（96.3%）」が最も多く、次点が「⑥好きな競技の観戦 57 件（71.3%）」となった。

問3 東京2020オリンピックをどのように観戦したいですか。【一つだけお選びください】

全回答数（件）91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 競技場で観戦したい	50	54.9	1
② パブリックビューイングで観戦したい	0	0.0	5
③ 自宅のテレビで観戦したい	33	36.3	2
④ 結果が分かれば良い	5	5.5	3
⑤ 観戦したくない	3	3.3	4

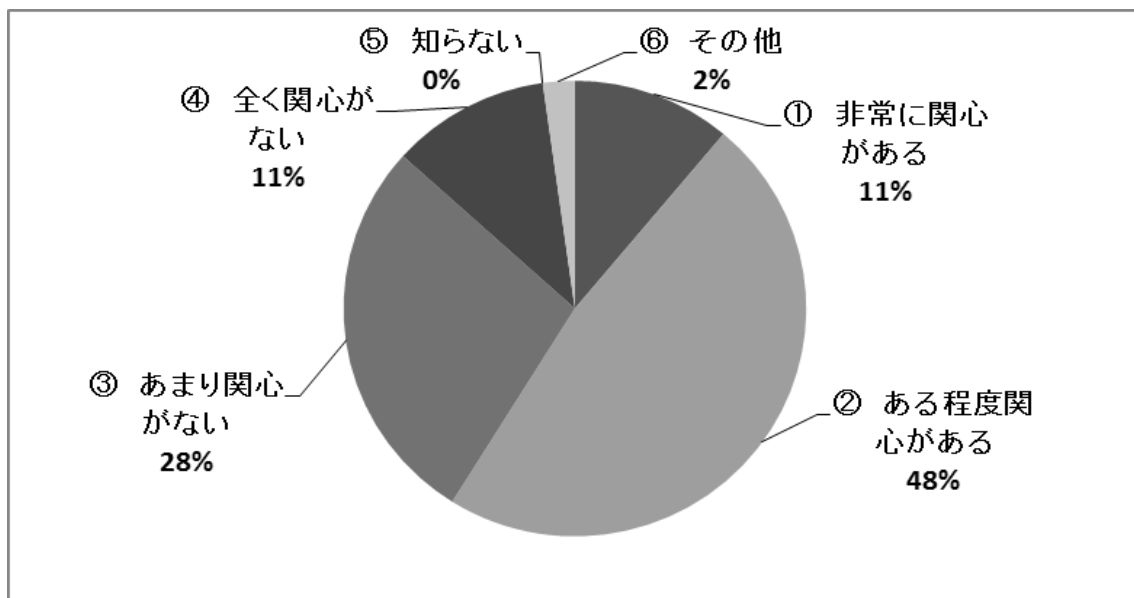


「①競技場で観戦したい50件（54.9%）」が最も多く、半数以上を占めた。
 また、次点で「③自宅のテレビで観戦したい33件（36.3%）」が多い。
 「②パブリックビューイングで観戦したい0件（0.0%）」はいなかった。

問4 東京2020パラリンピックに関心がありますか。【一つだけお選びください】

全回答数(件) 90

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 非常に関心がある	10	11.1	3
② ある程度関心がある	43	47.8	1
③ あまり関心がない	25	27.8	2
④ 全く関心がない	10	11.1	3
⑤ 知らない	0	0.0	6
⑥ その他	2	2.2	5



【⑥その他の意見】

- ・テレビ中継もされていなかったり、マスコミでも取り上げられていないので。
- ・オリンピックより意義のある大会だとは思いますが、夏場にやる意味は理解できない。

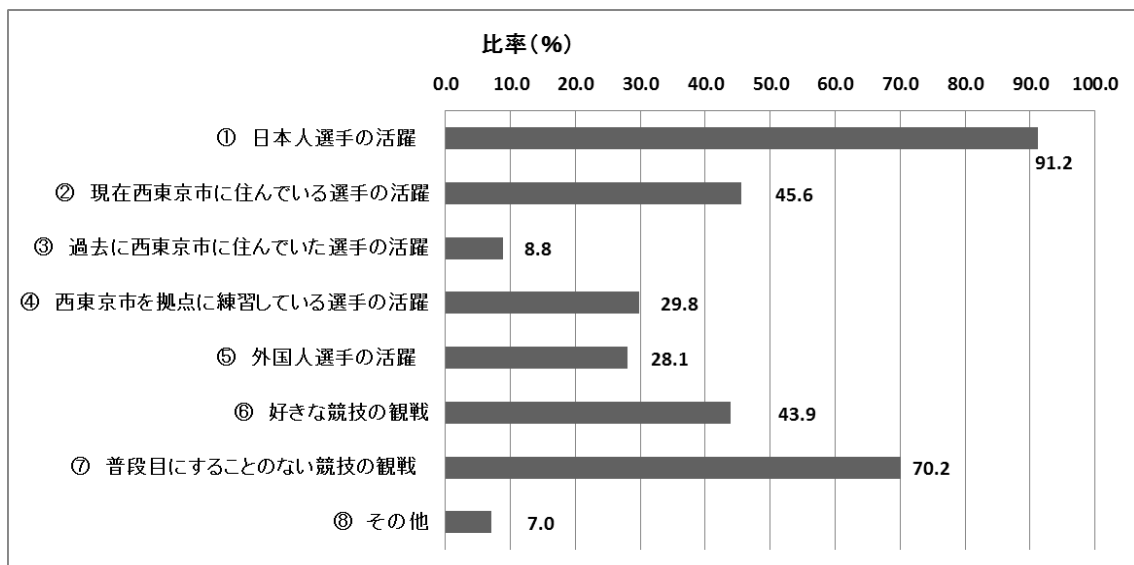
「②ある程度関心がある 43件 (47.8%)」が最も多く、「①非常に関心がある 10件 (11.1%)」を含めると全体の約6割の人が関心があると回答している。

問5 問4で「①非常に関心がある・②ある程度関心がある」と答えた方に伺います。関心があるのはどのようなことですか。 【上位4つをお選びください。】

全回答数(件) 185

回答者数(人) 57

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 日本人選手の活躍	52	91.2	1
② 現在西東京市に住んでいる選手の活躍	26	45.6	3
③ 過去に西東京市に住んでいた選手の活躍	5	8.8	7
④ 西東京市を拠点に練習している選手の活躍	17	29.8	5
⑤ 外国人選手の活躍	16	28.1	6
⑥ 好きな競技の観戦	25	43.9	4
⑦ 普段目にする事のない競技の観戦	40	70.2	2
⑧ その他	4	7.0	8



【⑧その他の意見】

- ・障害者が頑張っているのを見ると力になる。
- ・開会式、閉会式、パラリンピックに関わるボランティア活動
- ・パラリンピックを通じた日本のプレゼンス向上
- ・ハンディーキャップがある人が、それを克服する努力はよいが、人には目に見えないハンディーキャップもあり、それについて目を向けられず、成功物語ばかり、マスコミで取り上げられるのは問題
- ・スポーツにあまり興味が無いため

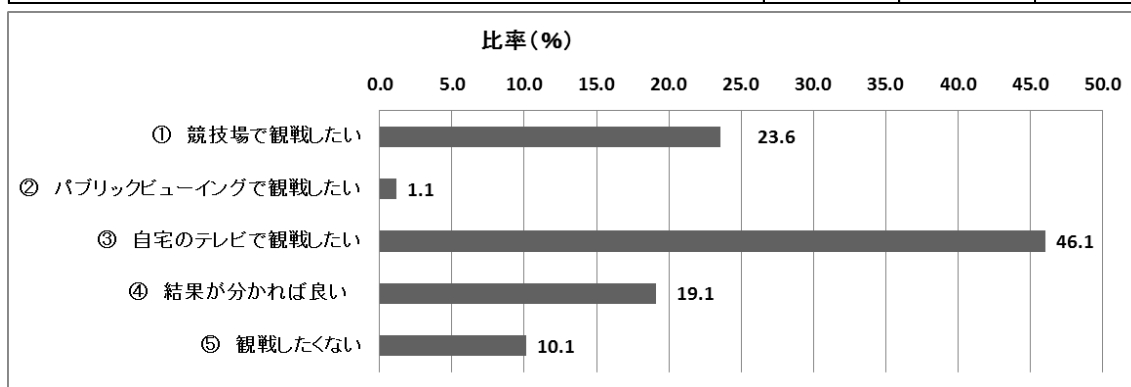
「①日本人選手の活躍 52 件 (91.2%)」が最も多く、次点が「⑦普段目にする事のない競技の観戦 40 件 (70.2%)」となった。

問6 東京2020パラリンピックをどのように観戦したいですか。

【一つだけお選びください】

全回答数（件）89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 競技場で観戦したい	21	23.6	2
② パブリックビューイングで観戦したい	1	1.1	5
③ 自宅のテレビで観戦したい	41	46.1	1
④ 結果が分かれば良い	17	19.1	3
⑤ 観戦したくない	9	10.1	4



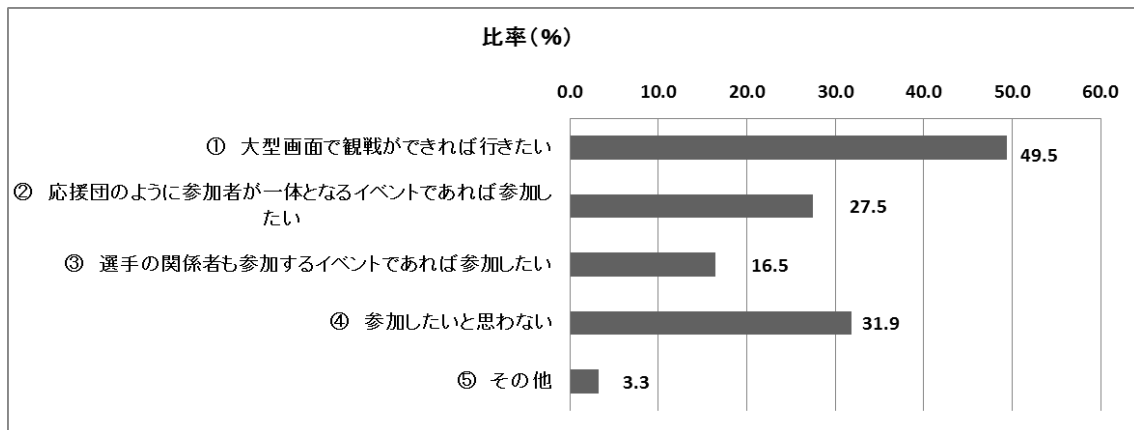
「③自宅のテレビで観戦したい 41 件 (46.1%)」が最も多く、次点が「①競技場で観戦したい 21 件 (23.6%)」となった。

問7 西東京市にゆかりのある選手の中にも東京 2020 大会への出場が期待されている方がいます。パブリックビューイングが行われた場合、どのようなイベントだと参加したいと思いますか。【複数回答可】

全回答数 (件) 117

回答者数 (人) 91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 大型画面で観戦ができれば行きたい	45	49.5	1
② 応援団のように参加者が一体となるイベントであれば参加したい	25	27.5	3
③ 選手の関係者も参加するイベントであれば参加したい	15	16.5	4
④ 参加したいと思わない	29	31.9	2
⑤ その他	3	3.3	5



【⑤その他の意見】

- ・ 自宅
- ・ イベントが近くであれば参加も考えたい。

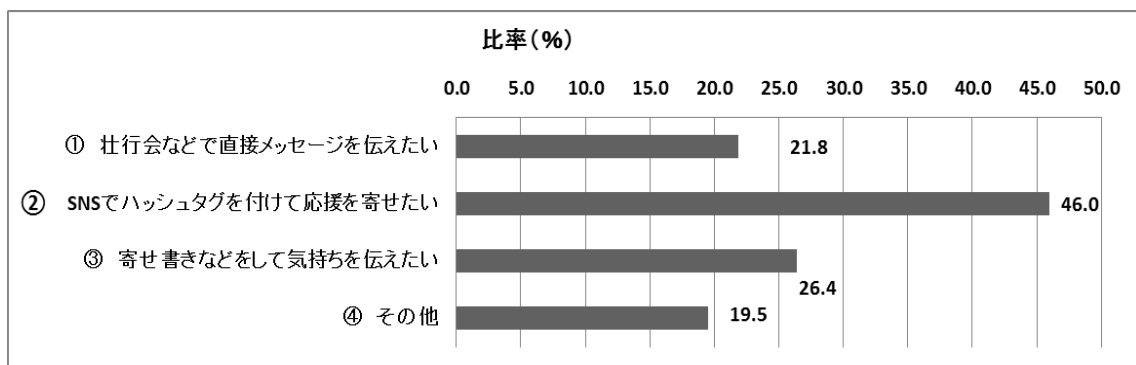
「①大型画面で観戦できれば行きたい 45 件 (49.5%)」が最も多かった。
「④参加したいと思わない 29 件 (31.9%)」が時点で多い結果となった。

問8 西東京市にゆかりのある選手の中にも東京2020大会への出場が期待されている方がいます。観戦以外でどのように応援したいですか。【複数回答可】

全回答数（件）99

回答者数（人）87

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 壮行会などで直接メッセージを伝えたい	19	21.8	3
② SNSでハッシュタグを付けて応援を寄せたい	40	46.0	1
③ 寄せ書きなどをして気持ちを伝えたい	23	26.4	2
④ その他	17	19.5	4



【④その他の意見】

- ・試合情報を詳しく知って、テレビでも応援したいと思うので、西東京市のホームページ等に特設ページなど作って気軽に閲覧したい。
- ・友達に薦める。
- ・活動資金援助（3件）
- ・特別に大きさにするのではなく、個人的に応援したいと思う。（2件）
- ・観戦以外は特にない。
- ・西東京市というだけでは、関心をもてない。
- ・特に応援はしない。（6件）

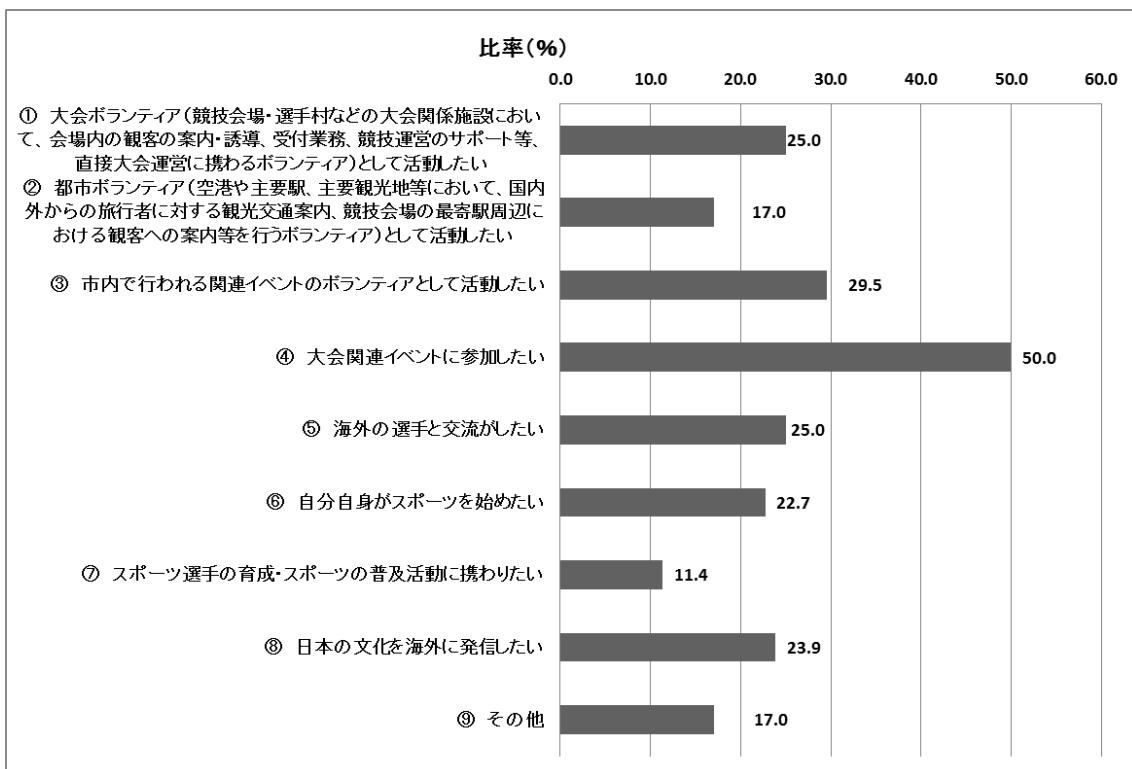
「②SNSでハッシュタグを付けて応援を寄せたい40件（46.0%）」が最も多かった。

問9 東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、あなた自身がやってみたいことは何ですか。【上位3つをお選びください】

全回答数（件）195

回答者数（人）88

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 大会ボランティア(競技会場・選手村などの大会関係施設において、会場内の観客の案内・誘導、受付業務、競技運営のサポート等、直接大会運営に携わるボランティア)として活動したい	22	25.0	3
② 都市ボランティア(空港や主要駅、主要観光地等において、国内外からの旅行者に対する観光交通案内、競技会場の最寄駅周辺における観客への案内等を行うボランティア)として活動したい	15	17.0	7
③ 市内で行われる関連イベントのボランティアとして活動したい	26	29.5	2
④ 大会関連イベントに参加したい	44	50.0	1
⑤ 海外の選手と交流がしたい	22	25.0	3
⑥ 自分自身がスポーツを始めたい	20	22.7	6
⑦ スポーツ選手の育成・スポーツの普及活動に携わりたい	10	11.4	9
⑧ 日本の文化を海外に発信したい	21	23.9	5
⑨ その他	15	17.0	7



【⑨その他の意見】

- ・子どもが小さいので、テレビ等を通じて、色々な競技や国について伝えたい。
- ・市内訪日客へのサポート
- ・仕事柄、日々の業務から大会輸送のインフラを支えていく。
- ・市内のスポーツが出来る場所を増やす。
- ・特になし (11件)

「④大会関連イベントに参加したい 44 件 (50.0%)」が最も多く、次点で「③市内で行われる関連イベントのボランティアとして活動したい 26 件 (29.5%)」が多かった。

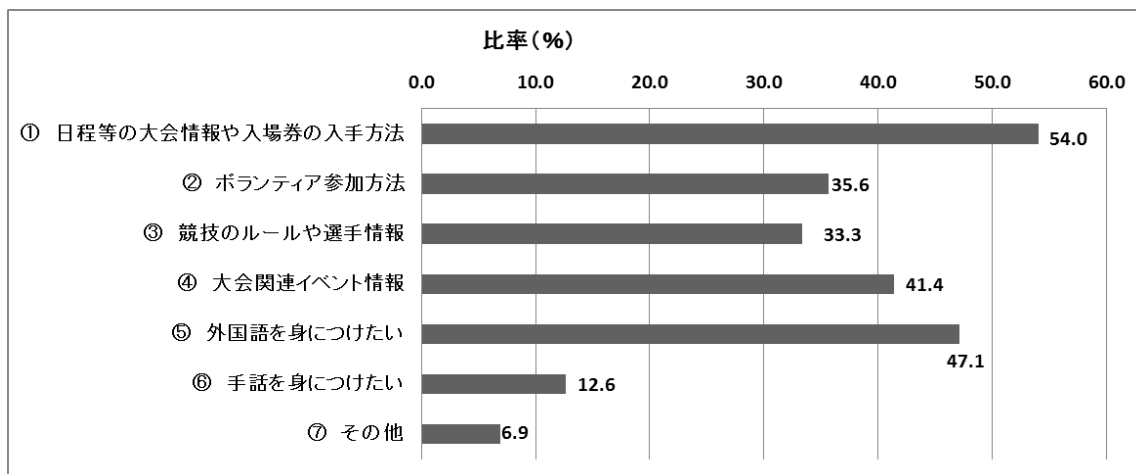
問 10 問 9 の回答について、そのために必要な情報や学びたいスキルはありますか。

【複数回答可】

全回答数（件） 201

回答者数（人） 87

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 日程等の大会情報や入場券の入手方法	47	54.0	1
② ボランティア参加方法	31	35.6	4
③ 競技のルールや選手情報	29	33.3	5
④ 大会関連イベント情報	36	41.4	3
⑤ 外国語を身につけたい	41	47.1	2
⑥ 手話を身につけたい	11	12.6	6
⑦ その他	6	6.9	7



【⑦その他の意見】

- ・市内の環境の情報公開
- ・交通が混雑する時間帯などを調べて、そうした時間帯を避けながら通勤したい。
- ・特になし（3件）

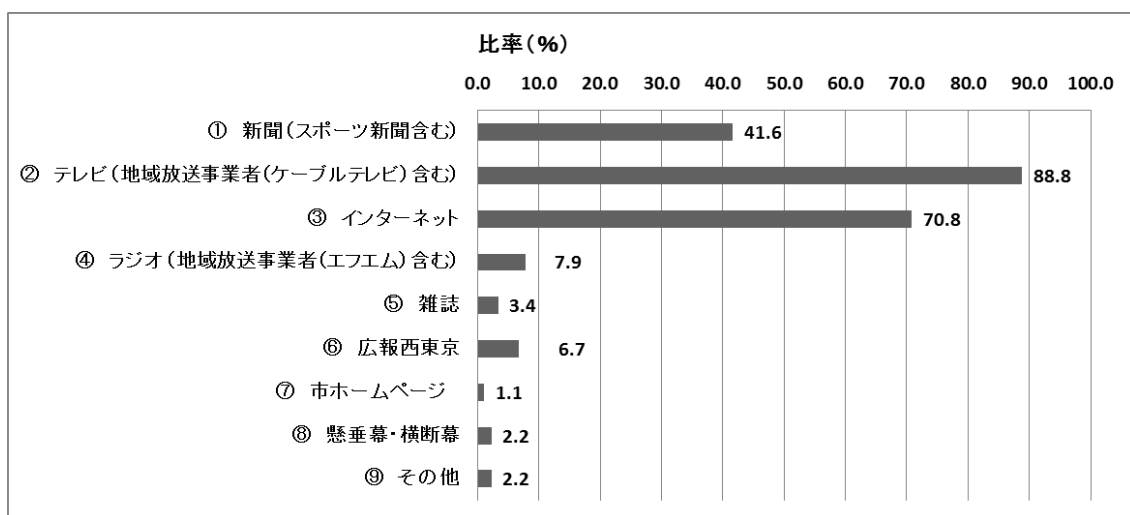
「①日程等の大会情報や入場券の入手方法 47 件（54.0%）」が最も多く、「⑤外国語を身につけたい 41 件（47.1%）」が次点で多かった。

問 11 2018年2月に開催された平昌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の情報を
得た媒体は何でしたか。【複数回答可】

全回答数 (件) 200

回答者数 (人) 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 新聞(スポーツ新聞含む)	37	41.6	3
② テレビ(地域放送事業者(ケーブルテレビ)含む)	79	88.8	1
③ インターネット	63	70.8	2
④ ラジオ(地域放送事業者(エフエム)含む)	7	7.9	4
⑤ 雑誌	3	3.4	6
⑥ 広報西東京	6	6.7	5
⑦ 市ホームページ	1	1.1	9
⑧ 懸垂幕・横断幕	2	2.2	7
⑨ その他	2	2.2	7



【⑨その他の意見】

- ・家族から聞いた程度
- ・何も見ていない。

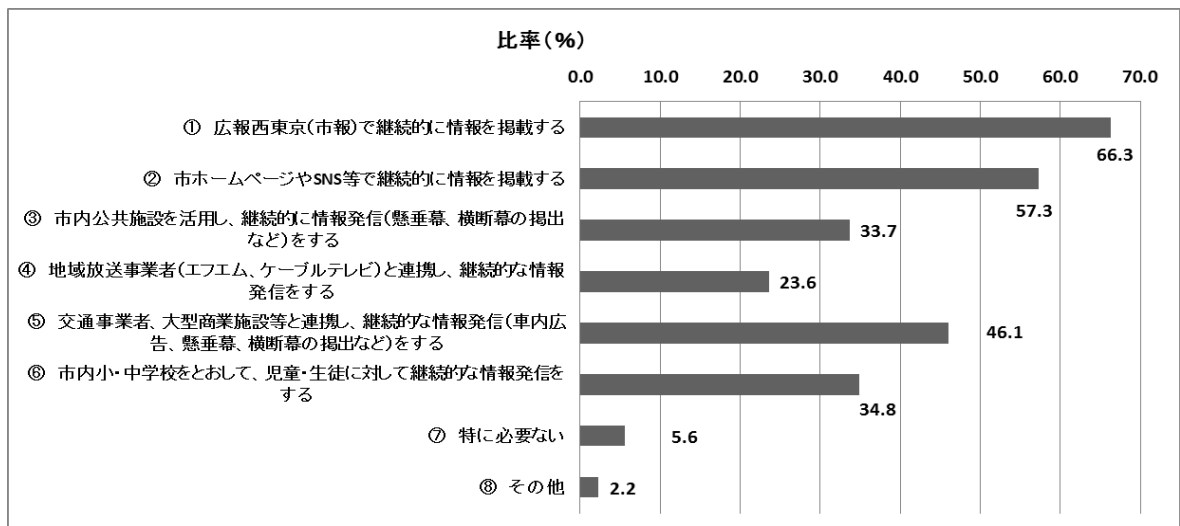
「②テレビ 79 件 (88.8%)」が最も多く、「③インターネット 63 件 (70.8%)」が次点で多かった。

問 12 東京 2020 大会の開催に向け、今後、西東京市独自の情報発信についてどのように思われますか。【上位 3 つをお選びください】

全回答数 (件) 240

回答者数 (人) 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 広報西東京(市報)で継続的に情報を掲載する	59	66.3	1
② 市ホームページやSNS等で継続的に情報を掲載する	51	57.3	2
③ 市内公共施設を活用し、継続的に情報発信(懸垂幕、横断幕の掲出など)をする	30	33.7	5
④ 地域放送事業者(エフエム、ケーブルテレビ)と連携し、継続的な情報発信をする	21	23.6	6
⑤ 交通事業者、大型商業施設等と連携し、継続的な情報発信(車内広告、懸垂幕、横断幕の掲出など)をする	41	46.1	3
⑥ 市内小・中学校をとおして、児童・生徒に対して継続的な情報発信をする	31	34.8	4
⑦ 特に必要ない	5	5.6	7
⑧ その他	2	2.2	8



【⑧その他の意見】

- ・テレビ CM の依頼が来そうなレベルの選手なら情報発信する意味はあると思うが、そのレベルでないのなら情報発信するメリットがないと思う。無償でしてくれるところなら良いと思う。
- ・懸垂幕、横断幕などは必要なく、もしその予算が少しでもあるならマイナースポーツや西東京市在住の選手の活動資金を支援したほうが良い。

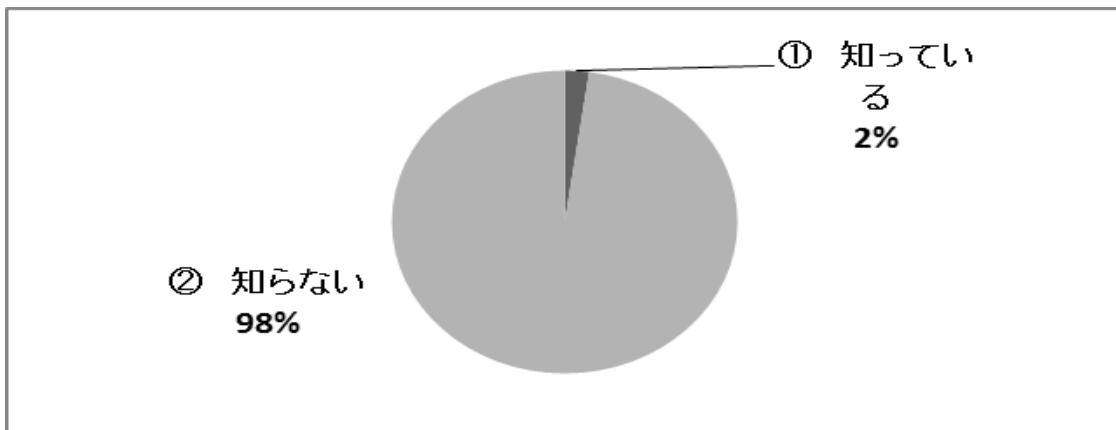
「①広報西東京(市報)で継続的に情報を掲載する 59 件 (66.3%)」が最も多く、次いで「②市ホームページや SNS 等で継続的に情報を掲載する 51 件 (57.3%)」となった。

問 13 オランダ連携プロジェクトが行われていることを知っていますか。

【一つだけお選びください】

全回答数（件） 88

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 知っている	2	2.3	2
② 知らない	86	97.7	1

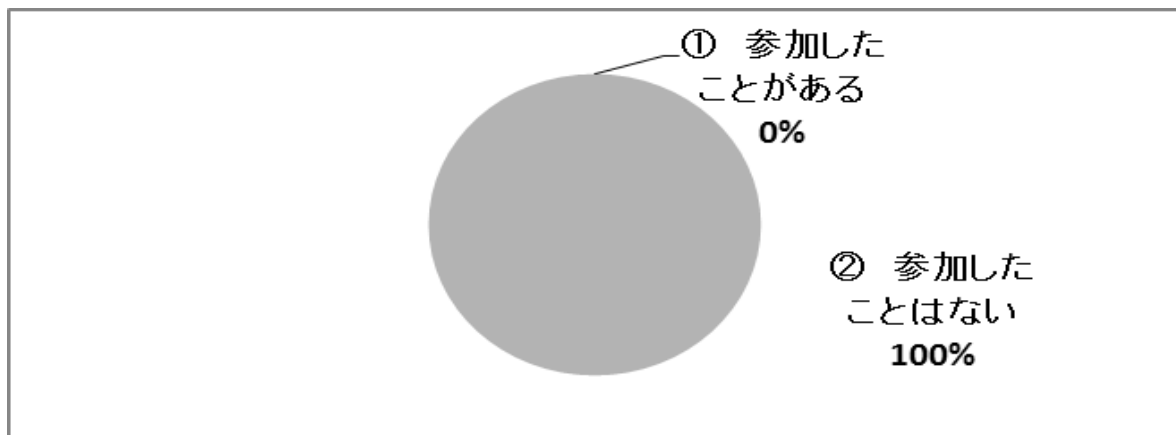


「②知らない 86 件（97.7%）」が全体の 9 割以上を占めた。

問14 問13で「①知っている」を選択した方にお聞きします。実際に参加したことはありますか。【一つだけお選びください】

全回答数（件）2

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 参加したことがある	0	0.0	2
② 参加したことはない	2	100.0	1

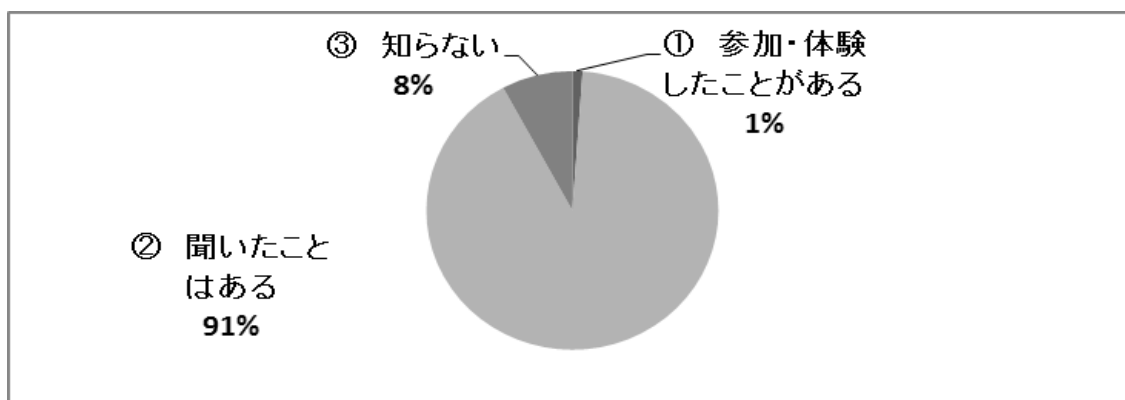


参加したことがある人はいなかった。

問 15 障害者スポーツを知っていますか。【一つだけお選びください】

全回答数（件） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 参加・体験したことがある	1	1.1	3
② 聞いたことはある	81	91.0	1
③ 知らない	7	7.9	2



「②聞いたことはある 81 件 (91.0%)」が最も多かった。

問 16 障害者スポーツに対するイメージを教えてください。

<18 歳～20 歳代>

【敬意】

- 障害を乗り越える姿への賞賛（感動する、励みになる、応援したくなるなど）（6件）

【参加したい】

- 障害者のスポーツと考えるため「楽しそう、やってみたい」という一種の共感を得にくい。さらにその共感は、障害者差別等につながる恐れがあり、あまり好意的な印象は無い。そのためルールを把握するためにも、障害者ではなくても障害者スポーツを体験するような機会があったらその見直しにも繋がると思うし、参加したいと思う。

【健常者と変わらない】

- 普通のスポーツとあまり変わらない。

【もっと発信すべき】

- もっと広めるべき。

【その他】

- 楽しくやるもの。
個性をいかにスポーツルールの中で平等にプレーするのか気になる。
- 障害のレベルに応じてルールやハンデを変えられるイメージ。詳細なルールがわからない。（2件）
- 身体に障害がある選手がやるスポーツ

<30 歳代>

【敬意】

- 障害者が前向きに頑張っている。すごいと思う。（3件）

【参加したい】

- 健常者でもやってみたい。

【健常者と変わらない】

- 特別なスポーツというイメージは持っていない。（4件）

【実感しにくい】

- 自分が障害を負っていないので、それぞれの競技の難しさなど、実感しにくい。

【もっと発信すべき】

- 報道が少なく、知名度が低い。確実に需要はあるイメージ。もっと報道されるべき。（2件）

【その他】

- 様々な工夫があることや障害を器具や道具で乗り越えようとする。(2件)
- ルールが多様、難しそう、場所も限られる。(3件)
- 率直な感想を述べるなら、どうしても感情面で「障害」の部分を意識してしまい、「可愛そうだな」「大変そうだな」等を考えてしまい、素直にスポーツ(観戦)に集中出来ない。自分自身、非常によくはない考えだと自覚はしているので直すことに努めたい。
- マラソン、水泳等しか知らない。

<40 歳代>

【敬意】

- 前向きに頑張っている姿への賞賛(感動する。励みになる。)(4件)

【健常者と変わらない】

- 健常者と何も変わらないくらいの技術で想像以上の迫力もある。(2件)

【環境整備が必要】

- 障害者が健常者以上に努力し奮闘しているが、なかなか練習場所がなかったり、支援が得られず苦勞している。競技人口が少ない。(2件)

【その他】

- 身体に障害があっても、ルールに修正を加えることで楽しめる、または努力、目標を持てるので良いことだと思う。
- オリンピックよりもより応援したくなる。
- 障害があっても自分の能力を活用して、周りの人達との関わりを通して社会参加もできると思う。(2件)
- 障害者の人達は自分は障害者ではないと考えている。その様な人々が世を動かすと考える。
- 一般的なルールとは別に各競技に独自のルールがある。(3件)

<50 歳代>

【敬意】

- 身体に不自由な所があるにも負けずに、好きなスポーツを頑張っている。人間の可能性を強く感じる。自己表現のすばらしさを教えてくれる。

【環境整備が必要】

- 目標を持ち自分の持つ能力を最大限に発揮するよう努力されている姿を素晴らしいと思う。器具など、スポーツを行う入口で、お金がかかり、大変そうだなと感じる。障害を持った方が、希望すれば気軽に始められる仕組みが整っているのか気になる。

【もっと発信すべき】

- 認知度が低い。(3件)

【その他】

- 障害者の社会参加を促進する。
- 大変そう。周りの人の協力を必要とする。(2件)
- 障害者の少数派
- ランク分けされていて、身内以外はあまり見ないイメージ。

<60 歳代以上>

【敬意】

- 障害を感じさせることなく努力していることへの賞賛(感動する。敬意を表する。など)(10件)
- 障害に負けず頑張っている姿勢に感銘を受ける。社会も以前に比べ差別、偏見が薄れてきたように感じる。

【実感しにくい】

- 思いやりの気持ちで競技を見るので、真剣勝負のスポーツとのイメージが無いような気がする。
- 壁を感じてしまう。
- ルールや参加できる条件が分かりにくい。

【環境整備が必要】

- 気軽にスポーツを楽しむ環境を整えば良い。

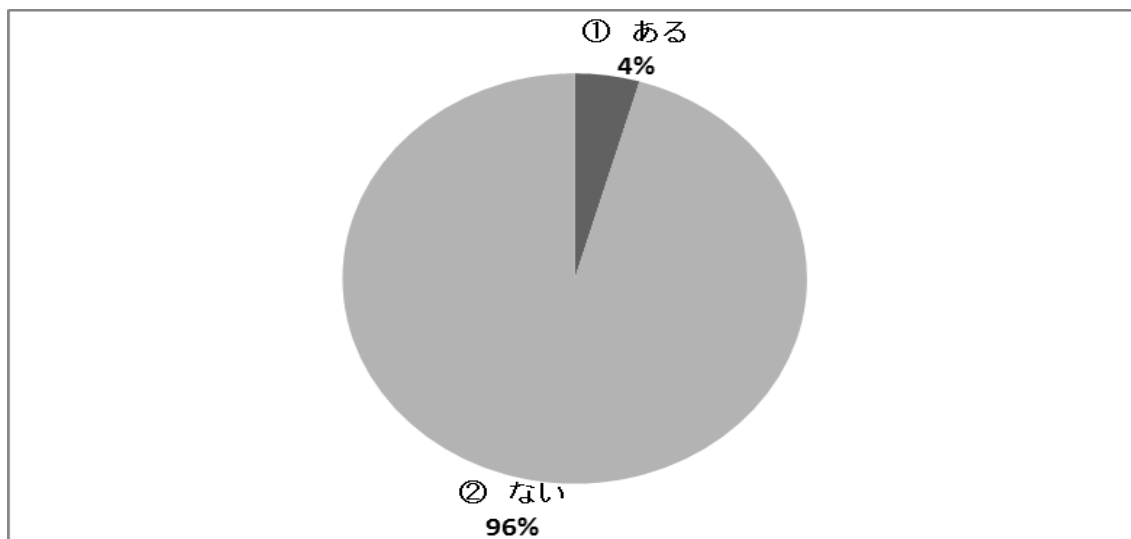
【その他】

- 義足での陸上競技や車椅子テニスに代表されるように、適切な補助(具)により、スポーツが楽しめることが分かるが、一般の障害者には普及されていないことが現状であり、一部の者のものとのイメージがある。

問 17 障害のある方と一緒にスポーツをしたことがありますか。

全回答数（件） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① ある	4	4.5	2
② ない	85	95.5	1

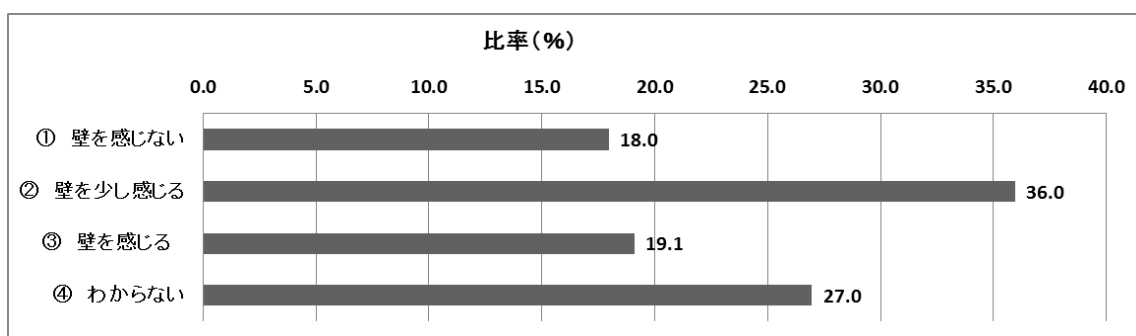


「②ない 85 件（95.5%）」を回答した人が9割以上だった。

問 18 障害のある方と一緒にスポーツをすることに「壁」のようなものを感じますか。

全回答数（件） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 壁を感じない	16	18.0	4
② 壁を少し感じる	32	36.0	1
③ 壁を感じる	17	19.1	3
④ わからない	24	27.0	2

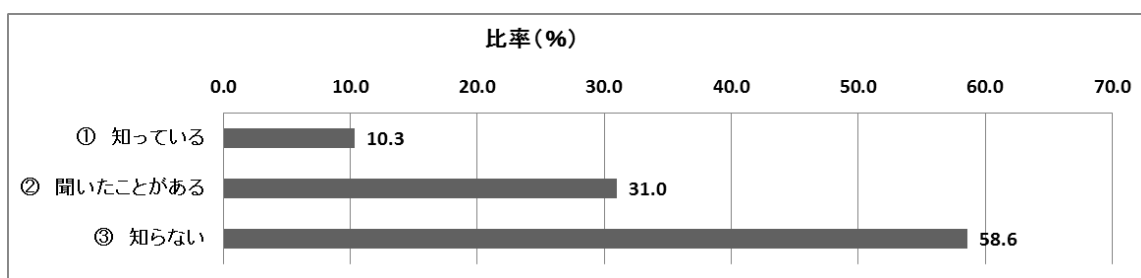


「②壁を少し感じる 32 件 (36.0%)」「③壁を感じる 17 件 (19.1%)」と回答した人を合わせると、壁を感じると答えた人が全体の半数以上を占めた。

問 19 「ソーシャル・インクルージョン（共生社会）」を知っていますか。

全回答数（件） 87

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 知っている	9	10.3	3
② 聞いたことがある	27	31.0	2
③ 知らない	51	58.6	1



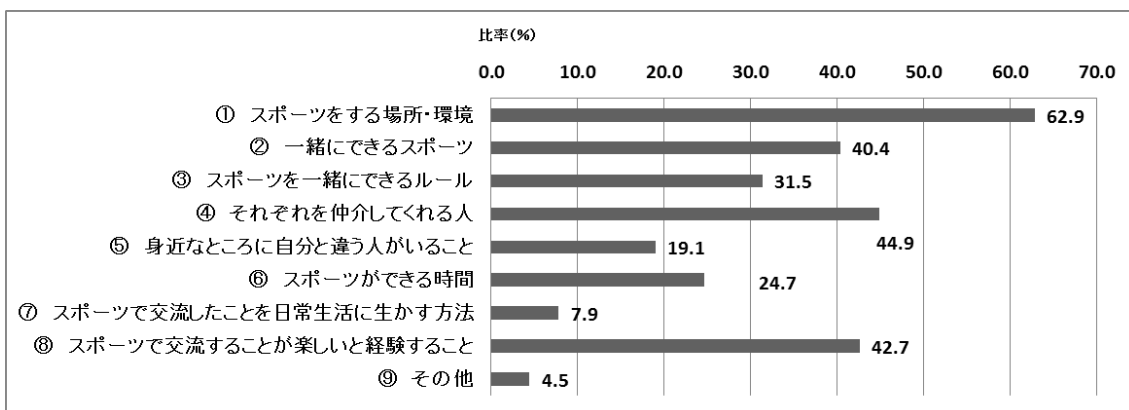
「③知らない 51 件（58.6%）」と回答した人が全体の半数以上を占めた。

問 20 共生社会の実現に向けて、障害や障害者に対する理解促進、世代間交流の促進等に
取り組んでいきますが、スポーツを通してコミュニケーションを図るためには何が必
要だと思いますか。【上位3つをお選びください】

全回答数（件） 247

回答者数（人） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① スポーツをする場所・環境	56	62.9	1
② 一緒にできるスポーツ	36	40.4	4
③ スポーツと一緒にできるルール	28	31.5	5
④ それぞれを仲介してくれる人	40	44.9	2
⑤ 身近なところに自分と違う人がいること	17	19.1	7
⑥ スポーツができる時間	22	24.7	6
⑦ スポーツで交流したことを日常生活に生かす方法	7	7.9	8
⑧ スポーツで交流することが楽しいと経験すること	38	42.7	3
⑨ その他	4	4.5	9



【⑨その他の意見】

- ・メディアがもっとパラリンピックを取りあげて、オリンピック同様に放映してくれることに尽きると思う。パラリンピックのニュースには感動するが、あまりにも放送で見るチャンスがないのが残念。
- ・オランダで7年間、住民として暮らしてみても実感しましたが、教育費、医療費がかからず、バリアフリーというかユニバーサルデザインで社会が整えられている等、金銭的には恵まれ、精神的にも余裕が生まれ、そういう条件が揃っているからこそスポーツをすることが可能なのだと思う。必要なのは、障害というハンデを極力取り除く政策だと思う。
- ・共に戦ったり、争ったりする事だと思う。
- ・特に必要ない。

「①スポーツをする場所・環境 56 件 (62.9%)」が最も多い。
次いで「④それぞれを仲介してくれる人 40 件 (44.9%)」となった。

問 21 西東京市において、どのようにすれば障害者と健常者が共にいきいきとした日常生活を送る社会が実現できると思いますか。

<18 歳～20 歳代>

【イベント等の開催（機会を作る）】

- 障害者と健常者が触れ合う、理解を深めるセミナー、イベント（5件）
- 私のように障害者スポーツに興味・関心が薄い住民を取り込む必要があると思う。

【環境の整備が必要】

- 障害者は、健常者への支援に頼るのではなく、自身でできるだけ生活を行う努力を示す必要がある。そして社会は、その努力を示しやすい環境づくりを行う。しかし過剰な環境づくりは返って人々に不快を与えかねない。そのため市民の声、市の声、障害者の声、様々な声を相対的に聞きなが進める必要がある。しかし最終的には、人対人のため真摯な対応が全てだと思う。
- バリアフリーを活用する。

【子どもの頃からの環境づくり】

- 幼、小、中、高と教育期間中に接する機会（特別支援学校との交流）をもっと持てれば良いと思う。

【理解し合う】

- 生ける人として認識し相互的に助け合えるシステムの構築が必要だと思う。相互の助け合いと書いたが正直、実現は難しい。そのため、障害者のことを健常者が理解する取り組みがまず必要ではないかと思う。
- 障害を持った人が困っているのを見かけたら、助ける。（2件）

<30 歳代>

【イベント等の開催（機会を作る）】

- お互いの理解を深めるための障害者スポーツ体験や交流ができるイベントの実施（4件）
- クラブや同好会などの発足。まずは気軽な体験できる機会などを作る。専用の SNS を作成するなど
- 自宅の隣に特別支援学校があり、自身も知的障害の児童の修学旅行を牽引するボランティアに参加したことがある。それらの経験から、壁は深く感じるが実際は浅いものだと思うので、身近なイベントから健常者側の理解が深まれば素晴らしいと思う。
- 在住の障害者から直接もっと話を聞いて意見を募ること。

【環境の整備が必要】

- 心のバリアフリーの推進、方法を検討していくこと
- バリアフリーの促進（エレベーター、歩道の段差、駅）（5件）
- スポーツができる公園をつくる。

【子どもの頃からの環境づくり】

- 小学校のうちから、特別支援学校等との交流を持ち、互いの存在を認識できるような環境を作る。子育て世代の大人との交流がもっと必要
- 大がかりなイベントだと参加するのにハードルが高く感じる。幼稚園、小学校中学校の課外授業等で自然に触れ合える機会があればよい教育になると思う。

【その他】

- 障害者を特別扱いせず、健常者と同等に扱う。障害者は特別扱いされることを求めている。

<40 歳代>

【イベント等の開催（機会を作る）】

- 障害者と健常者が一緒に参加できるイベントや交流の機会・場所を設ける。（8件）

【環境の整備が必要】

- 各々の障害の特性を知り、何を不便と感じているのか、障害を持っている方たちの目線で、行動対応をしていくことが大切かと思う。障害を持っていてもどンドン外へ出て健常者の中へ参加していけるような環境作りも大事だと思う。
- もっと不自由なく生活できるように工夫してほしい。
- バリアフリーの促進（歩道）（2件）

【子どもの頃からの環境づくり】

- 子どもの頃から障害者と触れ合う経験をしたり、学校教育として取り組む。各家庭でも親から子どもへ障害を持っていることへの偏見や差別を取り除くような教育をする。（3件）

【理解し合う】

- 障害者、健常者で区別するのではなくお互い普通に生活をし、困っていればさりげなく手助けをするだけで良いと思う。
- 特別扱いをしない。
- 障害者と健常者の両者が自身を認め、相互に理解すること。

【情報発信】

- 情報発信

【その他】

- 市職員の積極的な行動。市民に頼らず市が引っ張っていく姿勢

<50 歳代>

【イベント等の開催（機会を作る）】

- 障害者と健常者が交流する機会やイベント（4件）
- 自身の努力の足りなさだと反省しているが、障害のある方と健常者が触れ合う場がどこにあるのかわからない。そのような情報をお天気の情報を得るように普通に得られるようになったらいいと思う。

【環境の整備が必要】

- そもそも障害者、健常者というくくりで考えるより、老若男女全ての人がいきいきと暮らせる社会、まちづくりをハード面、ソフト面で考えていくことが大切だと思う。
- 企業、個人などでの障害者雇用の促進により社会参加を促す。（2件）
- バリアフリーの促進（4件）

【子どもの頃からの環境づくり】

- 幼少期から自然と隔たりなく接すること（5件）

【理解し合う】

- 思いやりの気持ち、譲り合いの気持ちを持つ。西東京市は特にお年寄りが多く、障害を持った方に親切にするのは難しいかと感じる。
- 障害者も普段の生活ができる。理解があれば、健常者が協力できる。

【その他】

- 行政の押し付けをやめる。

<60 歳代以上>

【イベント等の開催（機会を作る）】

- 障害者と健常者が交流ができる場所、機会を増やす。（5件）
- 両方を仲介してくれる方、場所が必要だと思う。
- 健常者のほうから積極的に提案して双方が納得できる課題を見つけ、一緒に取り組める機会を作る。そのためには障害者の社会参加が出来やすい環境整備はもちろんのこと双方の意見交換の場を頻繁に作り、何ができるか、実現可能なことから一つ一つ積み重ねていくことが必要と感じる。
- 障害者またその家族の方に、どの様な接し方がいいのか、そしてどういう事をして欲しいかなどのお話を聞く場を設けて欲しい。思いやりの気持ちを持って接していけば必ず楽しい生活を送れると思う。

【環境の整備が必要】

- ノーマライゼーションを目指したインフラの整備（移動手段、スポーツの場所）（3件）

【子どもの頃からの環境づくり】

- 子どものころから自然に、ともに生活学習するなどができる機会を作ること（2件）
- 子ども達の通っていた中学校では特殊クラスがあつて、体育祭、音楽発表会では練習から一緒になって行なっていた。子ども達は違う事が個性だと思っていた。そんな日常を過ごすのも一つの方法かもしれない。

【理解し合う】

- お互いがお互いを理解すること。人は百人百様皆、違ってよいと思うこと。「敬天愛人」私の故郷鹿児島の人西郷隆盛の言葉が全てを言い表していると思う。

【情報発信】

- 社会一般に、共存する認識が、絶対的に不足してるように思われる。まず、その情報、教育、環境等を告知、整備することが、先決ではないか。

【その他】

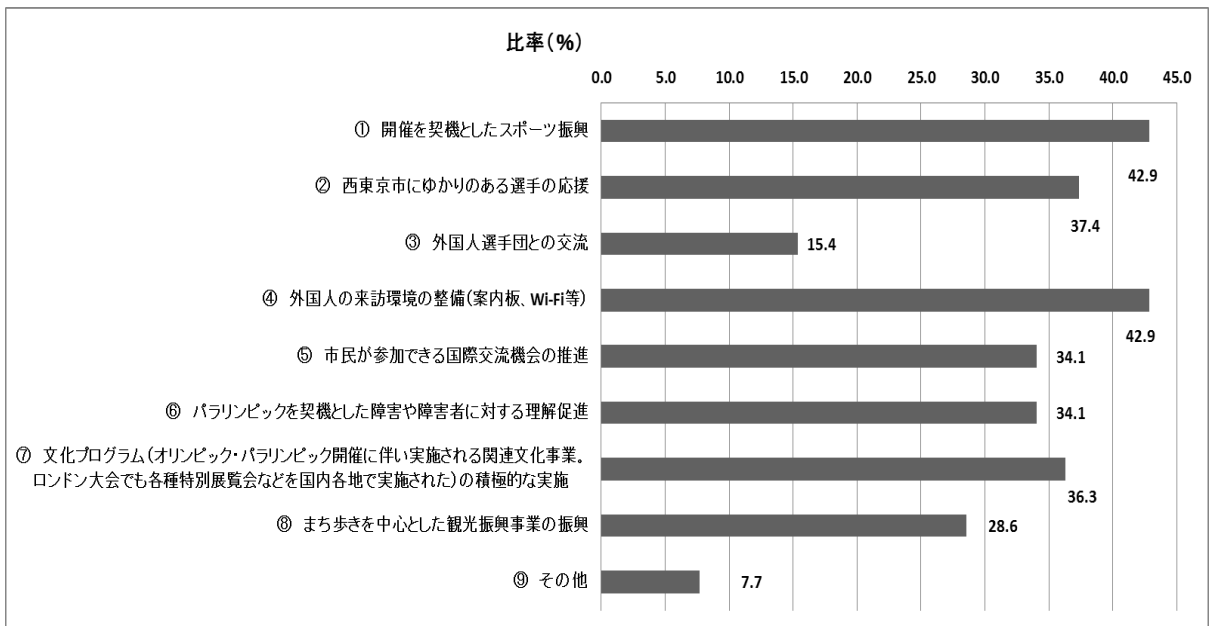
- 雇用促進

問 22 東京 2020 大会開催に向けて、西東京市が取り組むべき重要な課題は何だと思いますか。【上位 3 つをお選びください】

全回答数（件） 254

回答者数（人） 91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 開催を契機としたスポーツ振興	39	42.9	1
② 西東京市にゆかりのある選手の応援	34	37.4	3
③ 外国人選手団との交流	14	15.4	8
④ 外国人の来訪環境の整備(案内板、Wi-Fi等)	39	42.9	1
⑤ 市民が参加できる国際交流機会の推進	31	34.1	5
⑥ パラリンピックを契機とした障害や障害者に対する理解促進	31	34.1	5
⑦ 文化プログラム(オリンピック・パラリンピック開催に伴い実施される関連文化事業。ロンドン大会でも各種特別展覧会などを国内各地で実施された)の積極的な実施	33	36.3	4
⑧ まち歩きを中心とした観光振興事業の振興	26	28.6	7
⑨ その他	7	7.7	9



【⑨その他の意見】

- ・オリンピックを契機として、西東京市にレガシーを残す？それを実現すべき課題？この命題は、西東京市のパブリシティを獲得させること、これに尽きる。つまり、西東京市を著名にさせることが、課題。従って、選択肢の項目は適切ではないように思われる。オリンピックを契機として、西東京市を著名にさせる手段は、何か？例えば、市内の出身者の競技が、頻繁に告知（TV 等で）され、西東京市が著名になる等の施策（カーリングのように）を検討したらよいのではないか。
- ・集客を第一にして、西東京市を潤すことを中心に考えた方がいいと思う。
- ・街の再開発、特に西武新宿線沿線
- ・子どもから大人、障害者や高齢の方などすべての人が、安心して生活できる道路の整備。駅の両出口周辺の道幅を広くし、誰でも安心して歩ける道路整備。
- ・特に必要ない。

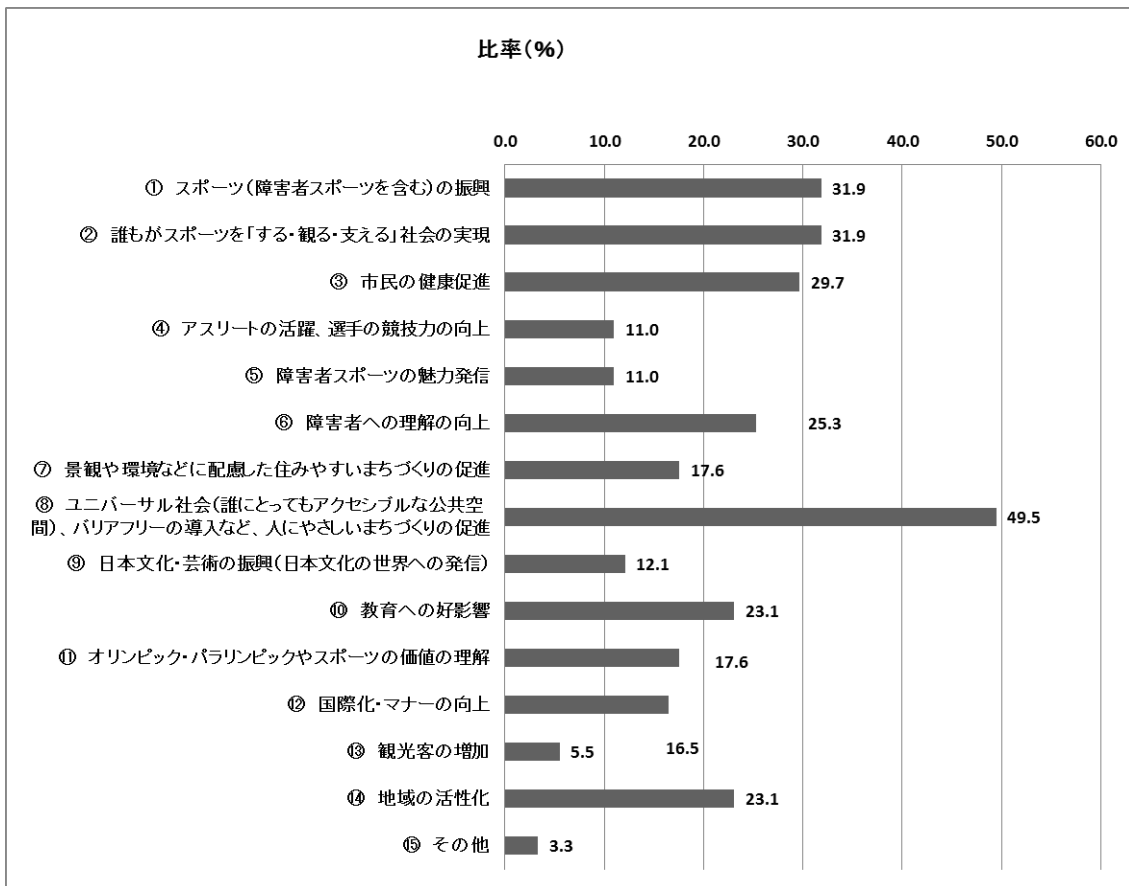
「①開催を契機としたスポーツ振興 39 件（42.9%）」と「④外国人の来訪環境の整備（案内板、Wi-Fi 等） 39 件（42.9%）」が同率で最も多かった。

問 23 東京 2020 大会を通して、西東京市にどのような効果をもたらされることを期待しますか。【上位 3 つをお選びください】

全回答数（件） 281

回答者数（人） 91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① スポーツ(障害者スポーツを含む)の振興	29	31.9	2
② 誰もがスポーツを「する・観る・支える」社会の実現	29	31.9	2
③ 市民の健康促進	27	29.7	4
④ アスリートの活躍、選手の競技力の向上	10	11.0	12
⑤ 障害者スポーツの魅力発信	10	11.0	12
⑥ 障害者への理解の向上	23	25.3	5
⑦ 景観や環境などに配慮した住みやすいまちづくりの促進	16	17.6	8
⑧ ユニバーサル社会(誰にとってもアクセシブルな公共空間)、バリアフリーの導入など、人にやさしいまちづくりの促進	45	49.5	1
⑨ 日本文化・芸術の振興(日本文化の世界への発信)	11	12.1	11
⑩ 教育への好影響	21	23.1	6
⑪ オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解	16	17.6	8
⑫ 国際化・マナーの向上	15	16.5	10
⑬ 観光客の増加	5	5.5	14
⑭ 地域の活性化	21	23.1	6
⑮ その他	3	3.3	15



【⑮その他の意見】

- ・世界はともあれ、日本国内において西東京市の存在、認識が不足している。オリンピックを契機として、広まることを期待する。
- ・特に必要ない。(2件)

「⑧ユニバーサル社会、バリアフリーなど、人にやさしいまちづくりの促進 45 件 (49.5%)」が最も多かった。次いで「①スポーツの振興 29 件 (31.9%)」「②誰もがスポーツを「する・観る・支える」社会の実現 29 件 (31.9%)」が同率となった。

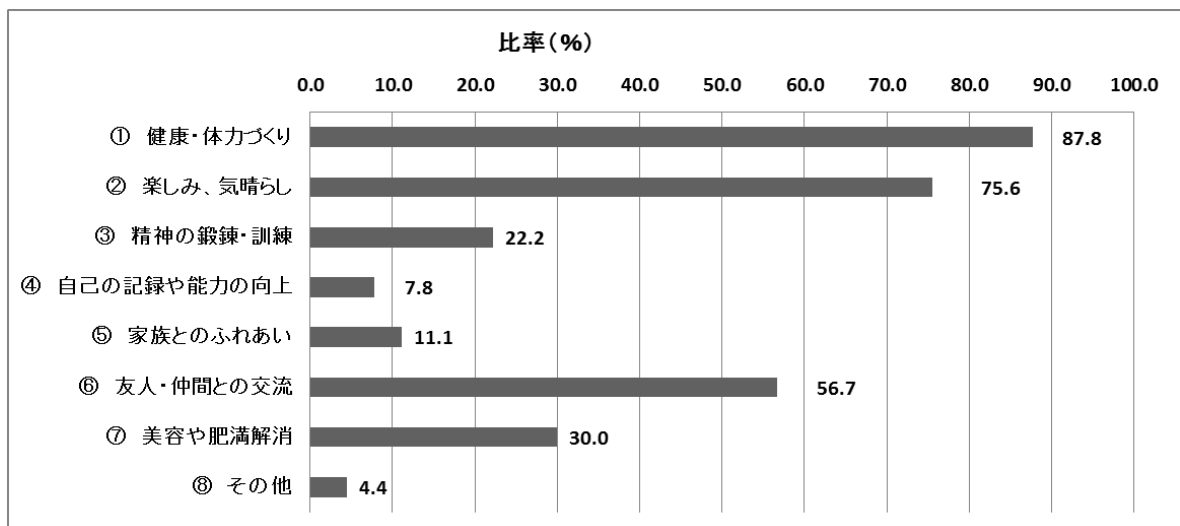
問 24 あなたにとって運動やスポーツは、生活の中でどんな効果を生み出すと思いますか。

【上位3つをお選びください】

全回答数（件） 266

回答者数（人） 90

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 健康・体力づくり	79	87.8	1
② 楽しみ、気晴らし	68	75.6	2
③ 精神の鍛錬・訓練	20	22.2	5
④ 自己の記録や能力の向上	7	7.8	7
⑤ 家族とのふれあい	10	11.1	6
⑥ 友人・仲間との交流	51	56.7	3
⑦ 美容や肥満解消	27	30.0	4
⑧ その他	4	4.4	8



【⑧その他の意見】

- ・ 娯楽。私は見る専門で、運動はしないので。
- ・ 少々の体力作り・・・のつもり
- ・ 目的に向かって「あきらめない」精神力を養うこと
- ・ 高齢者にとっての認知機能の維持

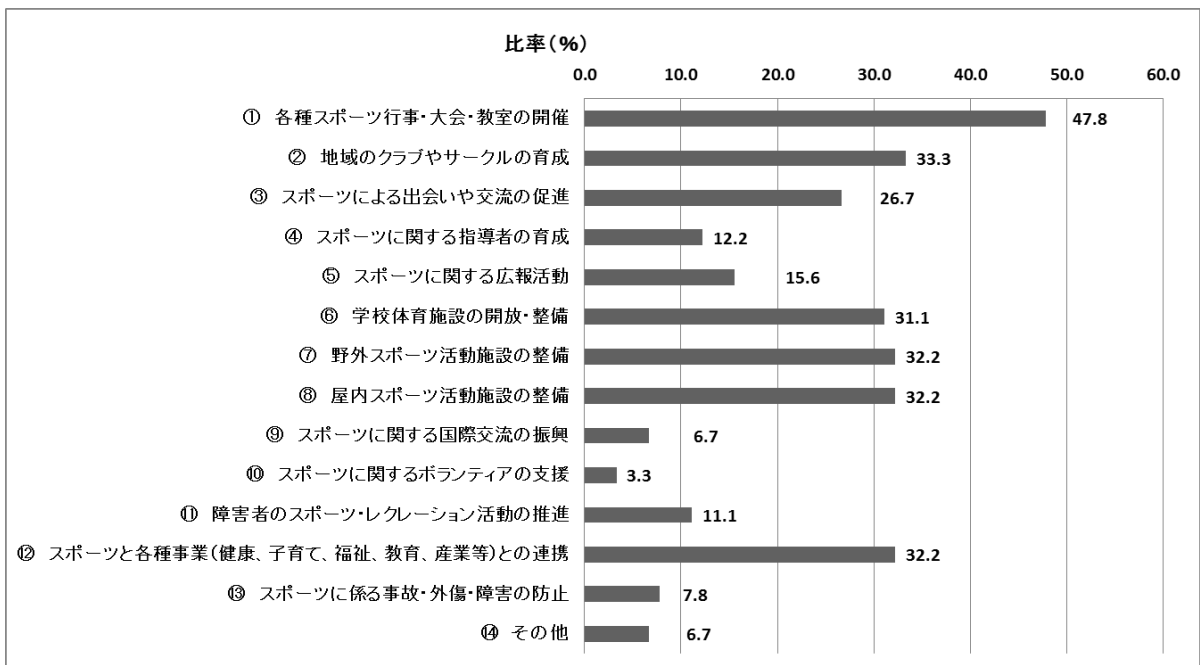
「①健康・体力づくり 79 件 (87.8%)」が最も多く、次いで「②楽しみ、気晴らし 68 件 (75.6%)」となった。

問 25 市内でスポーツをさらに振興させるために、西東京市に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。【上位3つをお選びください】

全回答数（件） 269

回答者数（人） 90

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 各種スポーツ行事・大会・教室の開催	43	47.8	1
② 地域のクラブやサークルの育成	30	33.3	2
③ スポーツによる出会いや交流の促進	24	26.7	7
④ スポーツに関する指導者の育成	11	12.2	9
⑤ スポーツに関する広報活動	14	15.6	8
⑥ 学校体育施設の開放・整備	28	31.1	6
⑦ 野外スポーツ活動施設の整備	29	32.2	3
⑧ 屋内スポーツ活動施設の整備	29	32.2	3
⑨ スポーツに関する国際交流の振興	6	6.7	12
⑩ スポーツに関するボランティアの支援	3	3.3	14
⑪ 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の推進	10	11.1	10
⑫ スポーツと各種事業（健康、子育て、福祉、教育、産業等）との連携	29	32.2	3
⑬ スポーツに係る事故・外傷・障害の防止	7	7.8	11
⑭ その他	6	6.7	12



【⑭その他の意見】

- ・西東京市のテニス人口に比し、コート数が少ない。東町コートが閉鎖後、新たなコートがないのでコート新設に期待する。市外コートの借り入れ施策は、テニス人口増加に伴う解消にならない。
- ・子ども達が、様々な種類のスポーツを経験できる催し
- ・障害児（未成年）がスポーツを楽しめる講座やスクールを市が先導して進めてほしい。
- ・体を動かす事についての注意
- ・民間スポーツクラブ参加への支援
- ・西東京市が早稲田大学と運動している学生に協力してもらい、スポーツイベントを東伏見で開催すれば、年代や地域にかかわらずいろんな方が参加できて面白いと思う。早稲田ブランドを活用、利用する。
- ・緑を活かして川沿いなどジョギングコース、ウォーキングコースなど距離の表記、歩数表記など、運動を意識させるものを設置。川沿いには夜でも走れるように明るいライトの設置（東伏見遺跡公園下の川沿い付近は夜は歩くのも困難な程真っ暗闇。時々走っている人は暗闇を走っていて危険。普通に歩くのも見えなくて危険）

「①各種スポーツ行事・大会・教室の開催 43 件（47.8%）」が最も多く、次いで「②地域のクラブやサークルの育成 30 件（33.3%）」となった。

問 26 スポーツが市民に親しまれていくためには、市民に対してどのような働きかけが効果的と考えますか。

<18 歳～20 歳代>

【情報発信】

- 情報発信をする。（広告、宣伝、SNS、ポスターなどの活用）（5件）

【体験会・イベント】

- スポーツ体験会等のイベントの開催（3件）
- ラジオ体操など気軽にできることを各地域で行う。小さなことをこつこつ行い徐々にスポーツへの機運を促進する。

【環境整備が必要】

- スポーツができる場所の確保（安い利用料金、屋外施設、屋内施設）（4件）

<30 歳代>

【情報発信】

- まずは「楽しさ」を知ってもらう。スポーツにもよると思うが「手軽さ」などもアピールできれば良い。

【体験会・イベント】

- **子ども**から大人まで初めてのスポーツも気軽に挑戦できるような機会を作ること（イベント、スポーツ教室）（2件）
- 子育て世代が気軽に参加できるイベントが増えればうれしい。未就学児が参加できるイベントがもっと増えてほしい。
- 「健康に良い」、「ダイエットに良い」等の「スポーツに伴う付加価値を普及し、市民が興味を持った段階でそのスポーツに（特に初心者）が参加しやすい土壌があると素晴らしい。ウォーキング、ヨガ、太極拳あたりは軽運動の健康やダイエットの効果は絶大で良いと思う。僕もヨガや太極拳は気軽に参加できたら参加したい。
- 駅前の歩道に100メートルトラックを転写して、自然と早歩きにさせたり人通りが空いている際にシャトルランを行わせたりと、街に運動器具を溶け込ませて自然に体を動かしてしまうようにするのが良いのではないかと思う。
- スポーツ教室の補助金が出たらいいと思う。

【環境整備が必要】

- 手軽にスポーツができる環境の充実（開放場所、安い利用料金、屋内施設・公園・歩道の整備、施設を増やす）（8件）

【その他】

- 働く世代が施設利用の段階で、予約できないことが多い。難しいと思うが高齢者専用と分けることはできないだろうか。テニス等、特にコートがないので、始めることも難しい。

<40 歳代>

【情報発信】

- 情報発信（スポーツのメリットや具体的な方法、スポーツの魅力、活躍する選手のインタビューなど）（4件）

【体験会・イベント】

- スポーツイベント、大会の開催（西東京市にゆかりのある選手を招待、参加型イベント、参加賞）（7件）
- 近所にスポーツのコート（グラウンド）や広場があれば、いつもスポーツ（イベント）を開催。学校とかのグラウンドを多く開放し、クラブ活動、大小の大会を開催

【環境整備が必要】

- 手軽に参加できる環境や機会（2件）
- スポーツ環境の整備（ジョギングルート、公園、グラウンド、広場、施設、校庭開放）（4件）
- 公園にスポーツ、ストレッチ、トレーニングなどできる運動器具を設置（ベトナムホームミンなどで見かけるフリーのトレーニング器具）ベトナムの朝の公園風景が理想

<50 歳代>

【情報発信】

- 年齢などに応じた、おすすめスポーツの情報提供

【体験会・イベント】

- スポーツイベントの開催（4件）
- スポーツ教室・スポーツプログラム（腰痛防止、運動不足の人向け、オリンピック・パラリンピック競技）の実施（6件）
- スポーツ関連イベントの開催と広報と共に、スポーツができる施設の整備（2件）
- 施設等のインフラ整備に留まらず、スポーツ大会、イベント等に市民が気軽に参加できる機会の情報発信、行政単独でなく、地域、産業等との協働

【環境整備が必要】

- スポーツができる施設の整備（4件）
- 市が主催するスポーツ教室を受講後に自主サークルなど継続できるような環境
- スポーツ施設の利用方法の改善（インターネット、申請手続き）（2件）

<60 歳代>

【情報発信】

- 様々なスポーツの情報発信（魅力、イベント情報、スポーツ施設）（4件）
- スポーツをする事がフレイルの予防になり、健康寿命のためにもなるということをあ
らゆる機会をとらえて市民に訴えていく事が大事だと思う。（市報、スポーツ推進員
などから）

【体験会・イベント】

- 気軽に参加できるスポーツイベントの開催（有名スポーツ選手の招聘、試合や大会、
料金設定）（5件）

【環境整備が必要】

- 健康ポイントを創設して、そのポイントで市の施設の利用ができるようにする。健康
ポイントとは、年代に応じた数値設定をした上で、それを測定する器具と場所を設け
て、習慣的に測定できるようにする。そのポイントに付加価値を付ける。
- 市民が取り組みやすいスポーツの場所と機会を提供する。（3件）
- スポーツ施設の利用料金の見直し（安価にする。利用時間の区分）（2件）

【その他】

- スポーツ嫌いも多数いるので、難しいことだが、スポーツ嫌いにしなければ良いので、
幼少の頃からスポーツに親しめるような政策を取るのが良いと思う。

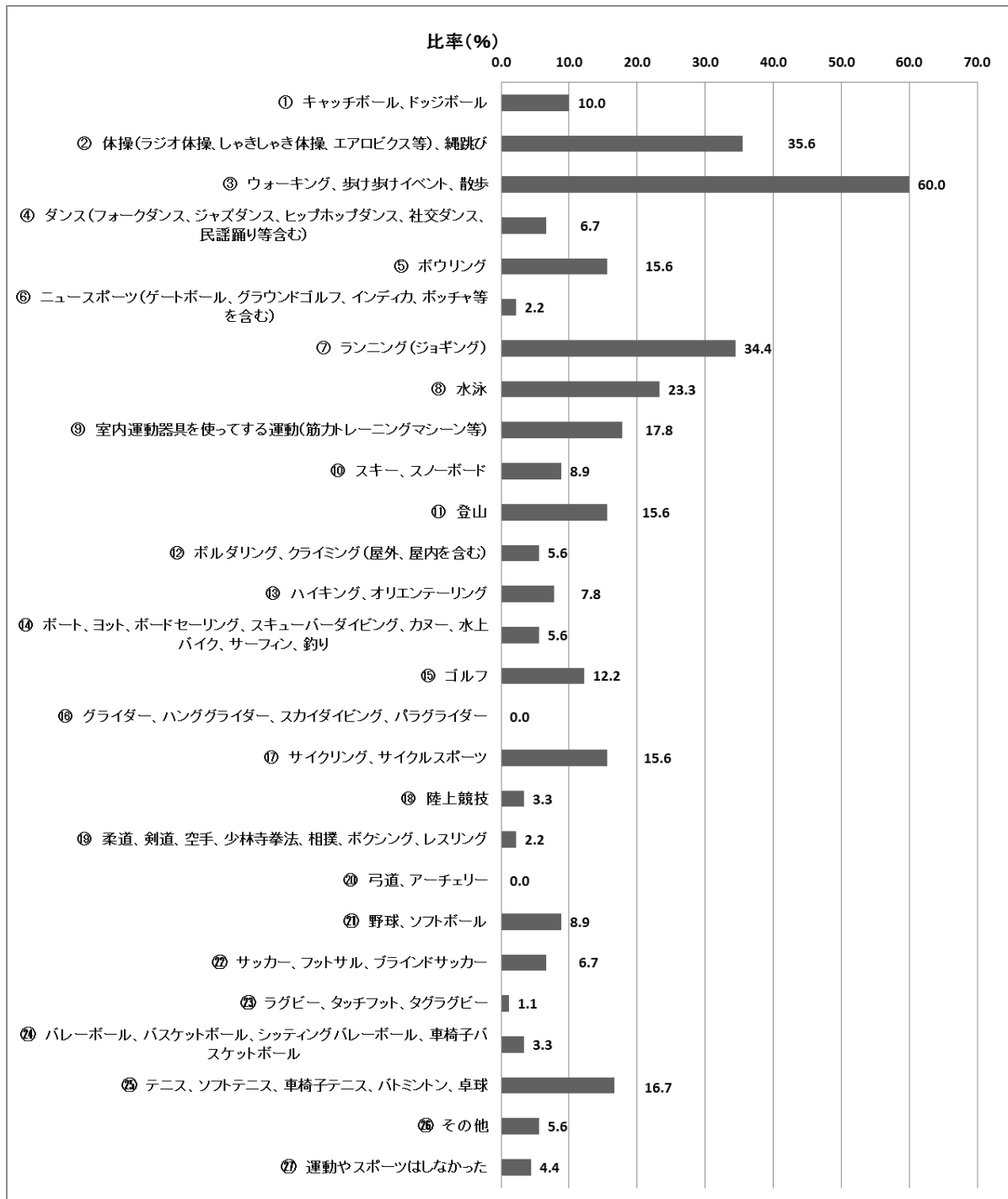
問 27 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば、次の中から全てお選びください。なお、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

【複数回答可】

全回答数（件） 296

回答者数（人） 90

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① キャッチボール、ドッジボール	9	10.0	11
② 体操(ラジオ体操、しゃきしゃき体操、エアロビクス等)、縄跳び	32	35.6	2
③ ウォーキング、歩け歩けイベント、散歩	54	60.0	1
④ ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、ヒップホップダンス、社交ダンス、民謡踊り等含む)	6	6.7	15
⑤ ボウリング	14	15.6	7
⑥ ニュースポーツ(ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディカ、ボッチャ等を含む)	2	2.2	23
⑦ ランニング(ジョギング)	31	34.4	3
⑧ 水泳	21	23.3	4
⑨ 室内運動器具を使ってする運動(筋力トレーニングマシン等)	16	17.8	5
⑩ スキー、スノーボード	8	8.9	12
⑪ 登山	14	15.6	7
⑫ ボルダリング、クライミング(屋外、屋内を含む)	5	5.6	17
⑬ ハイキング、オリエンテーリング	7	7.8	14
⑭ ボート、ヨット、ボードセーリング、スキューバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り	5	5.6	17
⑮ ゴルフ	11	12.2	10
⑯ グライダー、ハンググライダー、スカイダイビング、パラグライダー	0	0.0	26
⑰ サイクリング、サイクルスポーツ	14	15.6	7
⑱ 陸上競技	3	3.3	21
⑲ 柔道、剣道、空手、少林寺拳法、相撲、ボクシング、レスリング	2	2.2	23
⑳ 弓道、アーチェリー	0	0.0	26
㉑ 野球、ソフトボール	8	8.9	12
㉒ サッカー、フットサル、ブラインドサッカー	6	6.7	15
㉓ ラグビー、タッチフット、タグラグビー	1	1.1	25
㉔ バレーボール、バスケットボール、シッティングバレーボール、車椅子バスケットボール	3	3.3	21
㉕ テニス、ソフトテニス、車椅子テニス、バトミントン、卓球	15	16.7	6
㉖ その他	5	5.6	17
㉗ 運動やスポーツはしなかった	4	4.4	20



【⑥その他の意見】

- ・ヨガ（2件）
- ・トランポリン
- ・マシントレーニング
- ・スケートボード
- ・eスポーツ

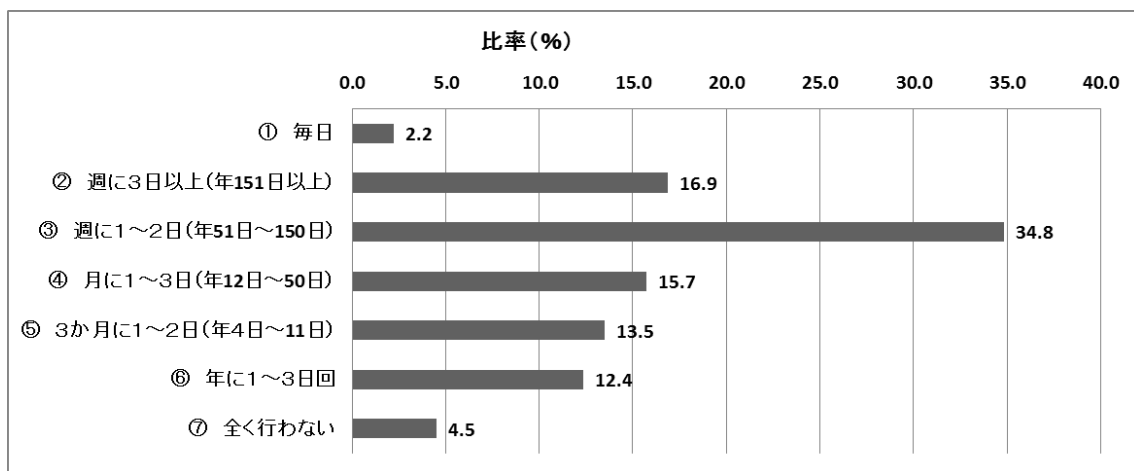
「③ウォーキング・歩け歩けイベント・散歩 54 件（60.0%）」が最も多く、次点は「②体操（ラジオ体操・しゃきしゃき体操・エアロビクス等）、縄跳び 32 件（35.6%）」となった。

問 28 あなたが運動やスポーツを行う頻度は、どのくらいですか。

【一つだけお選びください】

全回答数（件） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 毎日	2	2.2	7
② 週に3日以上(年151日以上)	15	16.9	2
③ 週に1～2日(年51日～150日)	31	34.8	1
④ 月に1～3日(年12日～50日)	14	15.7	3
⑤ 3か月に1～2日(年4日～11日)	12	13.5	4
⑥ 年に1～3日回	11	12.4	5
⑦ 全く行わない	4	4.5	6



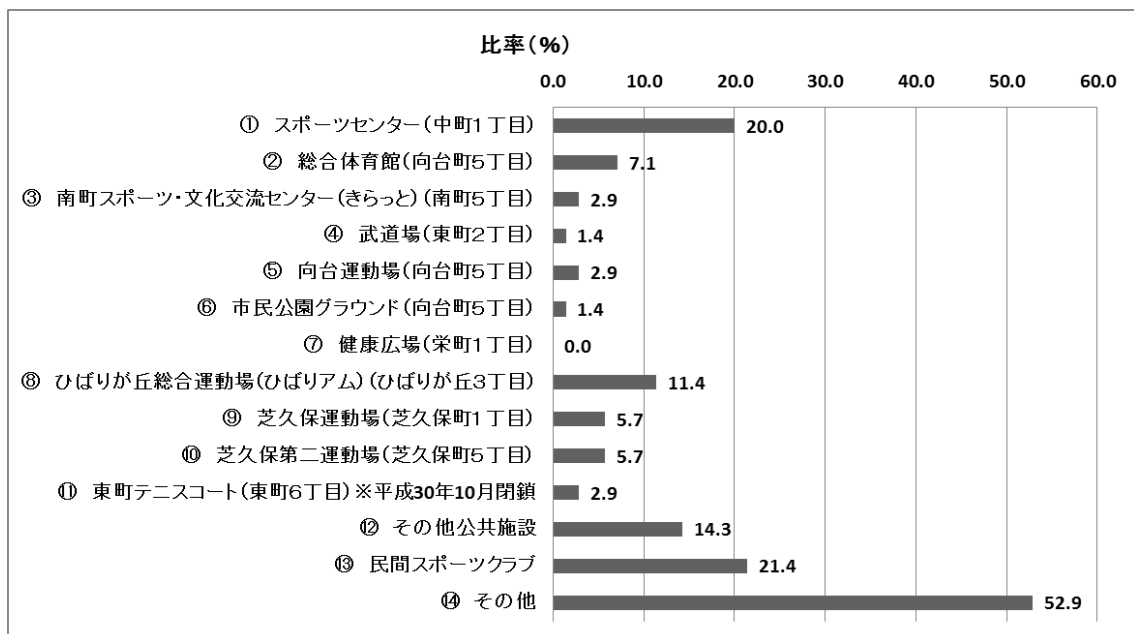
「③週に1～2日（年51日～150日）31件（34.8%）」が最も多く、次いで「②週に3日以上（年151日以上）15件（16.9%）」となった。

問 29 この1年間で、あなたがスポーツをするために利用した西東京市内の施設を全てお選びください。【複数回答可】

全回答数（件） 105

回答者数（人） 70

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① スポーツセンター(中町1丁目)	14	20.0	3
② 総合体育館(向台町5丁目)	5	7.1	6
③ 南町スポーツ・文化交流センター(きらっと)(南町5丁目)	2	2.9	9
④ 武道場(東町2丁目)	1	1.4	12
⑤ 向台運動場(向台町5丁目)	2	2.9	9
⑥ 市民公園グラウンド(向台町5丁目)	1	1.4	12
⑦ 健康広場(栄町1丁目)	0	0.0	14
⑧ ひばりが丘総合運動場(ひばりアム)(ひばりが丘3丁目)	8	11.4	5
⑨ 芝久保運動場(芝久保町1丁目)	4	5.7	7
⑩ 芝久保第二運動場(芝久保町5丁目)	4	5.7	7
⑪ 東町テニスコート(東町6丁目)※平成30年10月閉鎖	2	2.9	9
⑫ その他公共施設	10	14.3	4
⑬ 民間スポーツクラブ	15	21.4	2
⑭ その他	37	52.9	1



【⑭その他の意見】

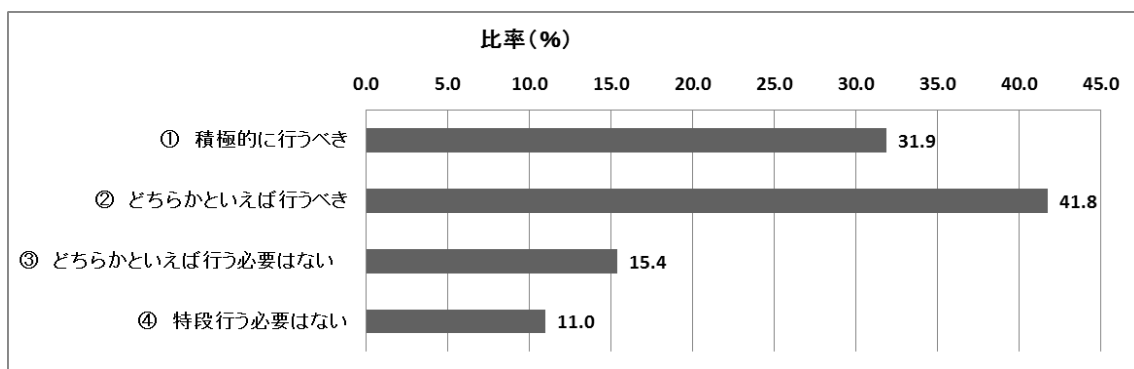
- ・公園（7件：小金井公園、いこいの森公園、ランニング）
- ・街中（5件：家周辺の散歩・ランニング、買い物の時のウォーキング、伏見通りでランニング）
- ・学校（4件：小学校校庭、体育館）
- ・福祉施設（3件：老人福祉会館センター、田無総合福祉センター、新町福祉会館、向台地区会館など）
- ・西東京市 HP に掲載されている市内の散歩コースを頼りにウォーキングした。妊娠中のウォーキングで利用した。休憩場所など更に妊婦さん向けのコースなどもあったらいいと思った。
- ・利用していない（17件：小金井市立施設、他県、奥多摩ハイキング、自宅でトランポリン、施設利用の方法が面倒）
- ・「東町テニスコート」の代わりになる施設の新設を希望する。

「⑭その他 37 件 (52.9%)」が最も多く、次いで「⑬民間スポーツクラブ 15 件 (21.4%)」となった。

問 30 東京 2020 大会の開催に向け、西東京市内への外国人来訪者増加に向けた取組について、どのように考えますか。【一つだけお選びください】

全回答数（件） 91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 積極的に行うべき	29	31.9	2
② どちらかといえば行うべき	38	41.8	1
③ どちらかといえば行う必要はない	14	15.4	3
④ 特段行う必要はない	10	11.0	4

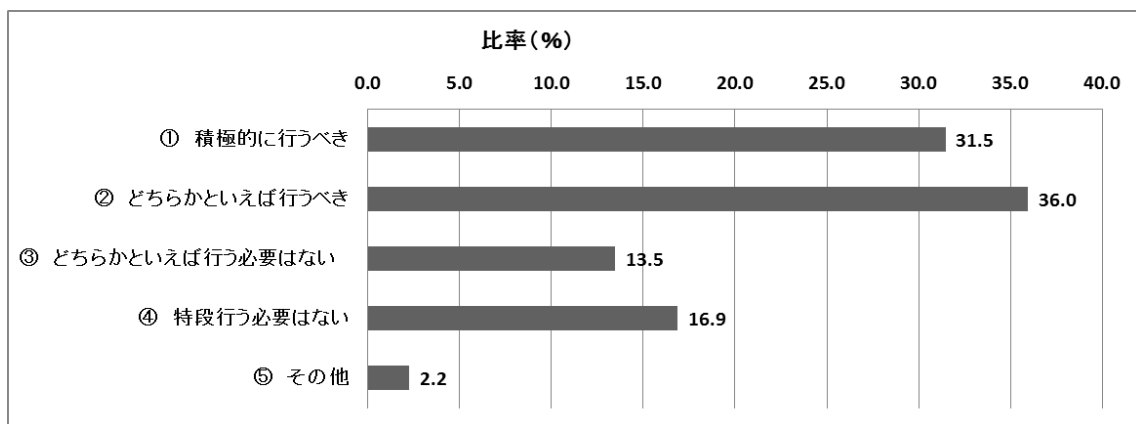


「②どちらかといえば行うべき 38 件 (41.8%)」が最も多く、「①積極的に行うべき 29 件 (31.9%)」と合わせると行うべきと回答した人は全体の 7 割以上を超えた。

問 31 今後、外国人も含め市外からの来訪者を増やし、市内経済等を活性化させる取組について、どのように感じますか。【一つだけお選びください】

全回答数（件） 89

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 積極的に行うべき	28	31.5	2
② どちらかといえば行うべき	32	36.0	1
③ どちらかといえば行う必要はない	12	13.5	4
④ 特段行う必要はない	15	16.9	3
⑤ その他	2	2.2	5



【⑤その他の意見】

- ・数か月の外国人来訪程度では、市内の経済的効果があるとは、思えない。むしろ、治安の問題が心配である。
- ・その他にやるべきことがある。

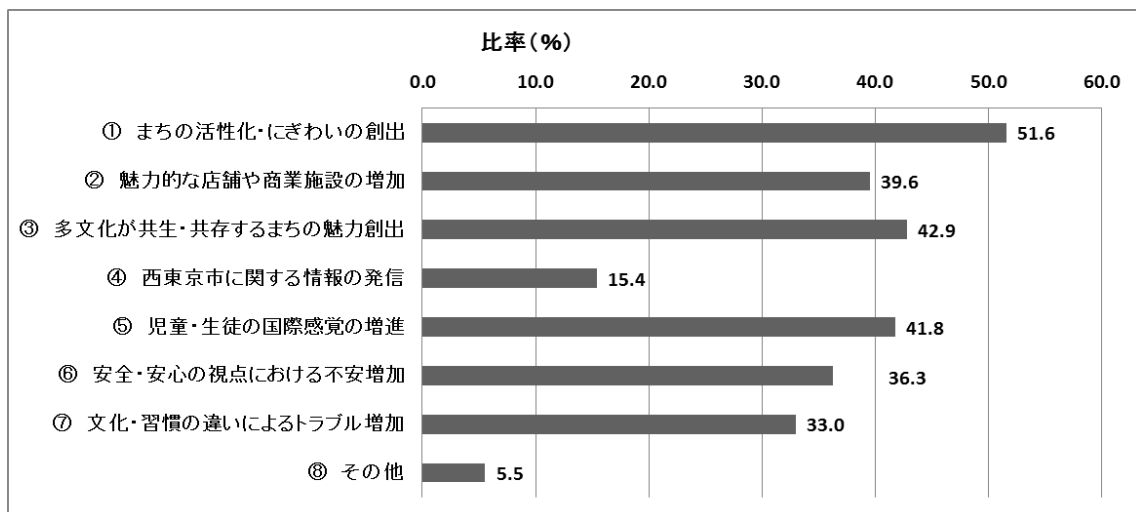
「②どちらかといえば行うべき 32 件 (36.0%)」が最も多く、「①積極的に行うべき 28 件 (31.5%)」と合わせると、行うべきと回答している人は全体の 6 割以上を超えた。

問 32 今後、市内における外国人旅行者等の来訪者が増え、交流が進んだ場合、まちがどのようなになっていくと思いますか。【上位3つをお選びください】

全回答数（件） 242

回答者数（人） 91

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① まちの活性化・にぎわいの創出	47	51.6	1
② 魅力的な店舗や商業施設の増加	36	39.6	4
③ 多文化が共生・共存するまちの魅力創出	39	42.9	2
④ 西東京市に関する情報の発信	14	15.4	7
⑤ 児童・生徒の国際感覚の増進	38	41.8	3
⑥ 安全・安心の視点における不安増加	33	36.3	5
⑦ 文化・習慣の違いによるトラブル増加	30	33.0	6
⑧ その他	5	5.5	8



【⑧その他の意見】

- ・まちが汚される心配。外国人が公共の場で非常識な行動をとる心配。
- ・経営学などを学んだことは無いのでなんともいえないが、どの地域でも外国人観光客に向けた動きは少なからずある。しかし無理な集客を行えば地域力の低下に繋がると考えている。そのためまずは、基となる地域力を向上し外国人によって日本が対応するのではなく、その地域を外国人に堪能してもらい取り組みの方が良いと考える、それは、日本人のサービス精神、「お・も・て・な・し」をなくすというわけではなく、日本人主体のおもてなしスタイルを構築する。そこに力を入れるべきと考える。そうしたまちづくりを行えば、外国人が来ようが来まいが地域力の向上の促進に繋がると思う。
- ・わからない。

「①まちの活性化・にぎわいの創出 47 件 (51.6%)」が最も多く、次いで「③多文化が共生・共存するまちの魅力創出 39 件 (42.9%)」となった。

問 33 東京 2020 大会の開催に向けて、自由なご意見をお聞かせください。

<18 歳～20 歳代>

【楽しみ】

- 東京で行われるオリンピックは初めて見るので今から楽しみ。
- 最近あまり良いニュースを聞かない。スポーツの力、オリンピックの力を良い方向へと繋げ、今後の日本の未来像をより良いものにできることに期待する。しかしオリンピックはそういった期待感抜きにしても心が躍り、純粋に楽しむ事を忘れないようにしたいと思う。また、ボランティア活動にもできる限り参加し、様々な面からオリンピックを楽しめたらと思う。
- 東京都全体で盛り上げられればいいと思う。

【参加してみたい】

- 前回東京でオリンピックが開催された時は、私は、まだ生まれていませんでした。なので今回のオリンピックでは私もボランティアをやりたいと思っている。

【観戦（応援）したい】

- あまりスポーツに詳しくないし、興味があまりないが、これを機にやってみよう（見よう）と少し思った。
- せっかく住んでいる地域で開催されるので、なにかしら参加したり近くで観戦したりできればいいと思う。

【期待している】

- まずは安全で安心な大会を目指してほしいと願っている。
- 2020 年までに障害者のスポーツへの素晴らしさを伝えるポスターなんかを作してほしい。

【活性化】

- 次の機会はなかなか来ないので、この機会を有効活用して様々な取り組みをすることで、市をより活性化させていくべき。

【その他】

- オリンピックに向けてもっと盛り上がってほしい。会場でボランティアをしてみたいのに、仕事があって行けないのが悲しい。
- 外国人にとってコンビニはあって困るものではないと思うし、商業施設の分布が偏っていると感じました。

<30 歳代>

【楽しみ】

- 人生において、自国でオリンピックが開催されるのを目の当たりにできるのは貴重な体験であるので開催されるのが楽しみ。
- 一流の選手が活躍する姿を間近で見ることができるかもしれないので、とても楽しみ。
- 東京の雰囲気がどのように変化していくのかが楽しみ。

【観戦（応援）したい】

- 東京開催なので、一度は競技場に足を運んでみたいと思う。また、西東京市出身の選手が参加されるなら応援したい。

【活性化】

- どんな行事があろうと、市民が1番嬉しいのは市内の経済の活性化し、西東京市が潤い、市民に還元されることだと思う。ふるさと納税する人が爆発的に増えたことを考えると、一目瞭然。何かを企画するときは西東京市を潤すことを第一に考えてほしい。

【環境整備が必要】

- ハード（施設など）への投資よりも、ソフト（情報発信、コンテンツ）への取り組みを強化してほしい。
- スポーツする環境の整備やインフラ道路が整備されると良い。
- 子どもが小さいため、子どもも楽しめる環境にしてほしい。

【心配・不安】

- どちらかという開催自体よりも大会終了後のほうが気になる。そのために作った施設などどうなっていくって、どんな影響があるのか…。

【その他】

- さらに、市が主体的にソフトへの投資を行うのではなく、市民みずから情報発信しなくなるような場づくり、支援体制作りが良いように思う。具体的には、熱狂的にオリンピック・パラリンピックに関心のある方にブログ等を通じた情報発信の役割を担ってもらい、市として宣伝する等
- 活性化も重要だが、安全や安心できる生活の維持も重要だと思う。西東京市は東京都の中央に位置し、利便性も良いので、宿泊施設があれば海外のみならず日本国内からも多くの人に利用してもらえと思うが、西東京市には泊まれる場所がほとんど無い。
- 大会後にも持続可能な取り組みが必要。大会バブルで人口減少や、財政難とならないような取り組みを考えていかなければならない。
- 東京全域に観光客が増えると思うので、安全面での対策が気になる。
- 楽しみではありますが、勤務地が会場に凄く近いので色々煩わしい。
- スポーツに特に興味がない。

<40 歳代>**【楽しみ】**

- 大変期待している大会なので自分自身も十分に楽しみたいと思っている。
- 東京で開催されることで、スポーツや障害といったことをより身近に感じられる絶好の機会と思っている。この機会に子どもたちにはぜひ自分の目や耳、さらには体験することで、今までにない知識や感動を感じとってほしいと思う。
- 2020年のオリンピックはとても楽しみ。子どもも5歳になり少しでも記憶に残るように競技を会場で見たい。市内から臨時のバスで武蔵野の森総合スポーツプラザに行けるようにしてほしい。
- 東京都民として盛り上げたい。
- 日本のような単一民族も、世界の方と触れ合うことで今後、生活や人生がより幅広いものとなっていけることに期待しています。日本の更なる発展も楽しみにしている。

【参加してみたい】

- どんなことでもいいので、大会に関わりたい。

【観戦（応援）したい】

- 東京都民は優先的に観戦できるようにしてほしい。また、観戦料金も都民は安くなれば良いと思う。

【期待している】

- 子ども達が積極的に関われる機会があれば、素晴らしい経験になると思う。西東京市にも期待している。
- 東京で大会が行われることをとても楽しみにしている。子どもも興味をもっているので、実際に競技場で選手たちの活躍をみていろいろなことを感じ学ぶ機会になることを期待している。
- 多くの外国人、全国からの観戦に来られる方がたくさんいると思うので誘致をするべきだと思う。場所的にも都心へのアクセスがよいため。マイナーな都市なのでアピールできれば、活性につながるはず。これを機にインフラの整備もやってもらえればよいと思う。うちにも障害のある子がいるため、期待している。
- スポーツを通じて、外国の方に日本を知っていただくチャンス。また、私たち日本人もこの機会に、自身の向上を図ったり、2020年に向けて各々が語学やスポーツを深められる場となり、外国の方を知る最高のチャンスだと思う。

【活性化】

- いずれにしても活性化すれば良い。
- 西東京市での競技を積極的に誘致してほしい。

【環境整備が必要】

- 老若男女、大小のイベントを行い、スポーツを通して、市民が何かを感じられる環境を作してほしい。

- オリンピックに向けて市全体の道路整備、歩行者、自転車、ジョギングなど簡単な運動のきっかけ作りが出来ると良い。

【その他】

- 当初の「コンパクト五輪」の構想が崩壊し、新国立競技場のデザインでも一悶着あり、予算は高騰、さらにボランティアへの過剰な役務など、あらゆる部分でボタンの掛け違えが起きているように思う。とはいえ止められるものではないことは理解できるので、せめてボランティアスタッフや参加する選手達が熱中症で体調を崩したり、亡くなったりしないことだけを願っている。
- 西東京市はオリンピックに関われるのか？関われないと思う。ならば全て絡めてしまえば良いと思う。無駄なお金は使うべからず。

<50 歳代>

【楽しみ】

- 楽しみ。塾の講師をしているが、生徒たちにも英語力を磨いて関わることができたらいいねと話している。たとえ、大会ボランティアではなくても、街中で旅行者の役に立てる機会はいくらでもあるはず。そうした時に臆さず、笑顔で手助けができると良い。英語だけではなく、他の言語を話される方も多くいるはず。そこから、英語一辺倒の意識が変わって、話せなくても笑顔と身振り手振りが、気持ちをつなぐことを知ることが、共生社会へと進む一歩だと思う。
- 日本開催は楽しみだし、何かしら観戦したいが、正直、西東京市が何か関係しているとは全く思い至らなかった。都内の出来事だと思っていた。

【参加してみたい】

- 観戦だけでなく、なんらかの形で参加したいと考えているので、そういうものがあればいろいろな媒体を使って広報していただきたい。

【観戦（応援）したい】

- 開会式を見に行けるようにしたい。

【期待している】

- 誰もが期待しているイベントなので是非とも成功させ未来に繋げて欲しい子ども達に夢、希望を与えてほしい。
- とても楽しみではあるが、高額なチケットで、手に入れられるかもわからない。会場には行かれずとも同じように盛り上がるような何かがあると素敵だと思う。その何かはいろんな世代の人が参加できるものであってほしい。例えば、子どもとお年寄りが一緒に参加できるようなもの。障害のある方と健常者が一緒に参加できるようなもの。それをいろいろな形でいろいろな世代の人がお手伝いする。そんな風にできたらいいと思う。

- 開催によって西東京市の街並みが増えることを期待する。
- 大会中、1度は会場で生で観たいと思う。大成功を祈っている。

【活性化】

- 海外の人が西東京にくるきっかけになると良い。
- 暑い季節に開催する事が困難に思う。今さらですが、桜の時期や秋などのスポーツをするのに適した時期の開催ができなかったか？西東京市は特別な観光スポットはないが、都心に近く、観戦するのに便利な地域だと思う。海外や地方の方に西東京市を知って頂けたら嬉しい。
- 西東京市も東京 2020 に向けて、アピールできるように。
- オリンピック、パラリンピック大会後のソフトレガシーの創出は地域行政の取組次第で異なると考える。西東京市はインバウンドに特別な優先度は感じませんが、大会を契機にできれば良いと考える。

【環境整備が必要】

- オリンピックやスポーツに向けての項目が多かったが、グローバルな事よりも足元からの見直しを着実に変えていった方が良いと思う。道路整備、西武線沿線（踏切等）の街づくり、官公庁（市役所職員の窓口対応※おもてなし精神がない）、警察（交番※親切丁寧な言葉遣い）の対応等
- 大会情報やチケットの入手方法、ボランティア情報など、タイムリーに入手できるような一時的な専用サイト（オリンピック情報サイト）を開設していただくと便利かもしれない。

【その他】

- 障害者、外国人云々より、西東京市に在住している私でさえ不快に思う事が多々あり、人に優しくあたたかなふれあいができる様なよりよい街づくりを私自身もご近所の方々とふれあう出会う人々に発信できる私でありたいと考える。
- 歴史に残る行事なので、観覧するなりボランティアするなり、何らかの形で関わりたいと思うが、実際はなかなか難しいのではないかと思ってしまうのが残念
- 華美な事なく、質実剛健的な大会として、将来の市民・国民生活の真の豊かさにつながるべきだと思う。

<60 歳代以上>

【参加してみたい】

- 個人的には、大会ボランティアに応募しようと思っている。過去の経験から、小・中学生の観戦機会を増やしてほしい（小生の際は、1クラス2名程度の観戦機会だったと思う）。

【観戦（応援）したい】

- 少しでも良い環境の中で東京 2020 大会の開催が出来るよう応援していきたいと考えている。

【活性化】

- 巨大プロジェクトとしてのオリンピックであるが、市としても一過性の祭りとして終わるのではなく、終了後も継続して活動、発展していける方策を念頭に施策を進めてもらいたい。
- 西東京市の活性化は勿論望むが大きな変化に伴う不安等も避けられないと思う。これを機に外にばかり目を向ける事なく自分達の足元を再確認してより住みやすい街になってほしい。
- 最近、国内のスポーツの中で卓球が見直され、人気上昇した。幸い、市内にはシチズンという社会人卓球で活躍している企業があるので、市として、税金を投入してでも、シチズンと共に卓球に力を入れてみてはいかがか。

【環境整備が必要】

- 前回のオリンピックは10月で過ごしやすい時期であった。今回は猛暑の真っ只中である。外出するのが憚られる。もし、市内で何かイベントを計画するのであれば暑さ対策が急務と思う。
- 公園の緑化をおすすめいただきたい。

【心配・不安】

- 猛暑の中で行われる東京オリンピック、パラリンピック競技大会はどうなるのだろうかとても心配。不安を感じる。

【その他】

- オリンピックのことばかり興味・関心がいつてしまうのはどうかと思う。日常の平常な生活を維持し、より良くしていくことを忘れないようにするべき。例をあげれば小・中学校の35人学級の徹底のため正規の教員を増やすなど、小・中学校の環境整備を確実に進めていってほしい。将来を担う子ども達のために税金を使ってほしい。
- 東京オリンピックを契機として、西東京市へ与える効果は、当市内出身の出場選手を、国内的に流布させること、マスメディアを通じて積極的に利用すべき。その為には、市内選手の育成等に取り組む必要がある。そもそも、「西東京市の認知度」は、日本国内は、もとより、都民の認識から見ても、極めて低いことを、認識すべきである。
- 障害者も見られる機会を増やす。

- 2020年にむけての「おもてなし講座」が西東京市で開講された時は参加できましたが、最近では東京都の主催になり、今も応募していますが、なかなか当選しない。ぜひ西東京市でも又開講して下さいます様お願いしたい。
- 夏のひどく暑い東京で、またオリンピックを行う必要は本当にあるのか、北欧などの選手が暑さの中で陸上競技やマラソンをするのは気の毒、との気持ちはある。ただ、やる以上は事故テロ地震などなく終わってほしい。
- 見たい競技はいくつかあるが、日本選手（有望な）の競技のチケットは高く、すぐ売り切れになってしまうので、テレビ観戦が主となる。今年の猛暑を考えると屋外のスポーツは暑さ対策（選手・観客）を充分実施してほしい。
- 前回大会は高度成長時代の先駆けで、大会も大いに盛り上がり感動した記憶がある。今回は財政的にいろいろな問題が発生。大会運営などにもトラブルが続き、イマイチ盛り上がりには欠けているような気がする。
- 入場する場合の費用を誰もが入りやすい費用にしてほしい。

以上

JSN オランダ連携プロジェクト

Game Changer ～パラスポーツで社会を変える～

★趣旨

地域スポーツ政策の中で、パラスポーツの普及・発展を通じて共生社会（ソーシャルインクルージョン）の促進を目指した取組

★実施体制

オランダオリンピック委員会・スポーツ連合（NOC*NSF）
独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）
西東京市、足立区、江戸川区（JAPAN SPORTS NETWORK 加盟自治体）

★期待される効果

- ◆パラスポーツの普及及び継続的なパラスポーツ拠点の創出
- ◆共生社会の実現（世代間交流の促進、障害者・障害者スポーツの社会的包摂の促進等）に向けた、市民の認知・理解・知識の向上及び行動の変化

★実施内容

【共通プログラム】

オランダのアスリート、コーチ、関係者が参加して行われる、3自治体合同で行う指導者・関係者向けワークショップ

【個別プログラム】

各自治体のプロジェクトプランに基づき、学校・地域スポーツクラブなどでオランダのアスリートが参加して行われる交流型スポーツイベント

2017年 プロジェクト始動



オランダ大使公邸での調印式



ケリー選手（リオパラリンピック卓球金メダリスト）が健常者と同じ環境で育てられ、スポーツをしてきた話を伺った。（西東京市民まつりにて）



ウィルチェアーラグビーの体験と選手との交流、義足やボッチャの体験を開催し、障害や障害者への理解促進を図るとともに、パラスポーツの魅力を感じた。



2018年のテーマ「Inspiration」感動体験から知る・学ぶ：オランダ人選手との交流を通じて、パラスポーツに親しむとともにスポーツを通じて誰もがともに暮らす社会の素晴らしさを実感します。

訪問プログラム 「障害者と健常者をつなぐ指導者の役割」講習会を開催



障害ではなく、可能性に向けてクリエイティブに（スポーツ指導者向けワークショップにて）

ルールが全てを決めるわけではない「成功体験」と「楽しむこと」が大切（コーフボール体験授業にて）



2019年のテーマ「Knowledge Transfer」オランダから日本へ知識・経験を継承する：オランダの社会におけるパラスポーツの定着やパラスポーツを通じた共生社会の促進に関する知識・経験を学び、西東京市の在り方を考えます。

2020年のテーマ「Legacy」レガシー：4か年の取組を通じて地域に根ざした新たな文化、知識、仕組みを残します。

